

盛岡市議会 会派「市政クラブ」

令和2年度予算要望への回答

目 次

(部 等 名)	(頁)
市 長 公 室	1
総 務 部	4
財 政 部	12
市 民 部	16
環 境 部	22
保 健 福 祉 部	25
子 ども 未 来 部	31
商 工 観 光 部	34
農 林 部	39
中 央 卸 売 市 場	42
建 設 部	43
都 市 整 備 部	53
上 下 水 道 局	58
市 立 病 院	61
教 育 委 員 会	63

州
公
限
有

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解を促進されたい。 ・ 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 ・ ILC誘致の最終段階となっており関係者と緊密に連携を図り、国に働きかけを強めていただきたい。 	<p>「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に示した「盛岡広域圏の中長期的な将来像」を達成するためには、広域圏全体と構成各市町の特長を生かしながら、経済成長や都市機能の強化、生活関連サービスの向上といったメリットの相互共有を図る必要があると存じておりますことから、各分野にわたる計画事業の着実な実施に向けて、関係市町との連携をより一層深めてまいります。</p> <p>また、県と市の合築推進や二重行政の解消につきましては、他都市での取組状況等を参考にしながら、引き続き、研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課）</p> <p>地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。</p> <p>今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課・総務部職員課）</p> <p>ILCの誘致実現に向けては、岩手県や東北ILC推進協議会などと連携し、国や超党派の国会議員で組織される「リニアコライダー国際研究所 建設推進議員連盟」等へ、直接要望活動を行っているところでありますが、令和2年1月に日本学術会議のマスタープラン公表、5月には次期欧州素粒子物理戦略の策定が見込まれますことから、引続き、県などの関係機関と連携を図りながら、誘致実現に向けた働きかけをしてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（国際リニアコライダー推進事務局）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10カ年での都市構想や、2040年代の各地域別の人口予測を作製・公表したうえでの長期的地域計画の策定、単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。 ・ 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、PDCAサイクルに則り、事業目的が達成される手段であるかどうかを再検討した上で実施の継続を行っていただきたい。 ・ 石川啄木や新渡戸稲造など盛岡の先人の偉業を考慮して交流を図っていただきたい。 	<p>総合計画の基本構想の策定に当たっては、2040年までの長期にわたる人口推計を行うとともに、社会の潮流や普遍的な本市の特徴や魅力を踏まえ、10年以上先を見通すなど、長期的視点に立ちながら策定しております。</p> <p>一方で土地政策やインフラ整備など、20年から30年先を目標にしながら取り組む領域もあるものと存じておりますことから、各部門別において策定する個別計画や施策の立案に際しても、総合計画の方向性を踏まえるとともに、必要に応じて長期的な視点を見据えながら取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課)</p> <p>盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、市の内部組織として設置している盛岡市人口対策本部において、毎年、取組の成果と課題の検証を行っているほか、住民・有識者からなる盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を設置し、重要業績評価指標（KPI）の検証および検証を踏まえた戦略の見直しを行っております。</p> <p>また、自然動態、社会動態とも減少傾向が続いておりますことから、次期総合戦略の策定にあたっては、現在取り組んでいる盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの成果と課題を踏まえ、より実効性の高い戦略として参りたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課)</p> <p>函館市とは、啄木かるた大会において小学生の相互派遣を行っており、平成29年度には両市の教育長が双方の大会を視察するなど、交流を図っておりますので、今後におきましても、多様な交流の促進を図ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、平成31年2月に石川啄木の縁で友好都市を提携した東京都文京区には、新渡戸稲造や金田一京助も居を構えたことがあるなど、盛岡の先人との縁がありますことから、文京区と相談しながら、様々な交流について検討してまいりたいと存じております。</p> <p>また、今後、他都市との交流を進める際には、本市が輩出した偉人や業績を介した交流の可能性についても探っていききたいと存じております。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課・教育委員会事務局歴史文化課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <p>・ ICTやAI, IOTの推進を踏まえ総合計画や各種計画に盛り込み早期の導入を図られたい。特に、定型・定量業務における効率化の推進を図られたい。</p>	<p>ICTやAI, IOTの技術の進展や活用が図られる中、これらの機能を活用した機器等の導入は、行政における市民サービスの向上や職員の業務効率化のほか、市民生活や産業活動などにおける課題解決に大きな効果をもたらすものと存じますので、総合計画の主要事業に位置付け、さらなる国の動向や先進事例の情報収集を行いながら、その推進に努めてまいりたいと存じております。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課)</p> <p>[各種計画への早期導入及び定型・定量業務における効率化の推進については総務部で回答]</p>
<p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <p>・ 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。</p>	<p>内丸官庁街につきましては、都市計画法に基づく「一団地の官公庁施設」を全国に先駆けて定め、市民の利便性、公務の能率及び土地の高度利用が図られ、市及び県における政治経済活動の中心として発展してきたものと存じております。「盛岡広域都市計画区域マスタープラン」や令和2年3月に公表を予定している「盛岡市立地適正化計画」を踏まえ、今後も中心商業・業務拠点を形成する地区としての位置づけが継続されるべきものと存じております。</p> <p>団地内の建物及び土地利用に関しては、今後の経年変化による建替えなどに応じて、各施設管理者と協議調整を図っていく必要性がありますことから、今後も情報収集に努めるとともに、適宜、国・県との協議調整を図ってまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課、都市整備部都市計画課・市街地整備課)</p>

部

務

總

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTやAI, IOTの推進を踏まえ総合計画や各種計画に盛り込み早期の導入を図られたい。特に、定型・定量業務における効率化の推進を図られたい。 <p>【総務部関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北初となる同姓パートナーシップ条例を制定されたい。そのためのパブリックコメントを実施されたい。 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、人事交流を促進されたい。 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 	<p>AIやRPAなど、ICT技術の導入により、定型・定量業務における事務の効率化が期待できることから、ICT利活用推進指針を踏まえながら、他自治体における先進事例などの情報収集を進めるとともに、効果的な導入について検討してまいります。 (総務部情報企画課)</p> <p>【市民部男女共同参画推進室で回答】</p> <p>職員の人事交流につきましては、広域首長懇談会における取組として、職員研修の相互参加を呼び掛け、実施しております。今後におきましても、職員間の相互理解と能力・資質向上のため継続実施していくとともに、人材育成を含めた定期的な情報交換を実施してまいります。 (総務部職員課)</p> <p>地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。 今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。 (市長公室企画調整課・総務部職員課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災被災者に対する支援について支援を継続されたい。 ・ 災害が起きた場合、被害者に対する支援が速やかに行われるような体制を作っていただきたい。特に現行の被災者生活再建支援制度は持ち家の被害を基に実施されるため支援の取りこぼしを生み出している。災害以降の生活設計に支障を来さない制度に改革するよう尽力していただきたい。 ・ 職員を市外県外国外へ研修で派遣されたい。また職員コンプライアンス教育の徹底をされたい。 	<p>東日本大震災からの復興につきましては、現在もなお、市内のみなし仮設住宅で避難生活を送られている現状や、国や県においても復興に向けた取組が継続されること等を踏まえ「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針（再生期編）」の期間を令和3年3月31日まで2年延長して取り組むことといたしました。今後におきましても、沿岸被災地の復興の実現と市内に避難した方々が安心して生活を送ることができるよう、支援を継続してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p> <p>〔保健福祉部地域福祉課で回答〕</p> <p>職員の派遣研修につきましては、毎年、市町村アカデミー等、県外の研修機関へ派遣するなど、職員の能力開発に努めているほか、職員の見聞を広げることを目的とし、各部署における先進地視察や岩手県市町村振興協会主催の行政調査研修、他団体の職員との交流を伴う研修などにも積極的に派遣しているところです。今後におきましても、派遣研修等を通じた人材育成を図ってまいります。</p> <p>また、職員に対するコンプライアンス教育につきましては、これまでの不祥事事案を教訓に、全庁を挙げて取り組んでおり、自らの問題として捉えられるような手法の導入や、職務に対する誇り、使命感、やりがいなど、ポジティブな視点でのコンプライアンスの意識付け、また、非違行為により本人自身が失うものや周囲に与える重大な影響について改めて認識させるような研修を行っているところです。引き続き、コンプライアンスに対する職員の意識改革に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員OBを緊急時予備役として招集できる体制を構築されたい。 ・ 職員のワークライフバランスや残業を調査され適正な職務環境であるか確認をされたい。時間外労働の削減を図られたい。 ・ 地域防災計画の市民への浸透を図るとともに自主防災隊組織の結成以降の組織の育成をされたい。特に水防と土砂災害から市民の生命を守る形での周知徹底をされたい。 	<p>職員OBを緊急時予備役として招集できる体制につきましては、豊富な行政経験を有した人材の活用という観点から、災害時、緊急時の体制整備のための方策のひとつと考えられますことから、自然災害を含めた今後の市の危機管理体制の整備を図る中で研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(総務部危機管理防災課)</p> <p>職員のワーク・ライフ・バランスにつきましては、公務能率の向上と併せて、年次休暇の取得促進など働きやすい職場環境を目指し、その推進に係る通知や、時間外勤務縮減に関する指針を策定し、過重労働の防止を始めとしたその趣旨の周知徹底を図るとともに、所属長による事前の時間外勤務命令の徹底と併せて、時間外労働の縮減に向けて取り組んでおります。また、平成31年4月1日から、盛岡市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例施行規則において、災害等による、他律的又は特例的な業務を除き、時間外労働の上限を月45時間、年360時間に定めたところであり、出退勤の管理について、パソコンの使用時間との記録を抽出して勤務実態を把握の上、各所属のヒアリングを行いながら時間外勤務の適正な管理に努めております。</p> <p style="text-align: right;">(総務部職員課)</p> <p>地域防災計画につきましては、自主防災組織の結成促進と組織の育成強化にあわせて周知に努めているところでありますが、新たな防災マップを活用しながら、今後とも、出前講座等の機会を捉え、市民への浸透を図ってまいります。</p> <p>また、自主防災組織の結成以降の組織の育成につきましては、各組織において、避難誘導訓練や消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練などの実践的な訓練に取り組んでいただいております。また、災害発生時には、地域における自主的な防災・減災活動を統制するなど、その組織力を生かした活動をもって、地域の安全・安心の確立に御尽力いただいているものと存じております。市といたしましては、自主防災組織の結成促進はもとより、結成以降の組織の育成が必要であると認識しておりますことから、自主防災推進員による指導、助言を積極的に行い、防災意識の更なる高揚を図るとともに、自主防災組織の自主的な活動がさらに活発に行われるよう、引き続き、消防署や消防団と連携しながら支援するとともに、近年、台風の上陸や局地的な大雨が多発しており、水害及び土砂災害の危険性が高</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性や障がい者、性的マイノリティー、外国人といったマイノリティーに配慮した避難所運営をされたい。その運営指針を地域防災リーダーや市民に伝えていただきたい。 ・ 河川管理について、災害勃発時の適切な対応が行えるよう国・県との情報交換を密接に行っていただきたい。 ・ 南青山町に新設される予定の災害公営住宅に関しては、地域住民との話し合いを充分に行い、地域に暖かく迎えられよう配慮していただきたい。 	<p>まっておりますことから、水害及び土砂災害時のとるべき行動につきましても訓練や研修を通じて市民へ周知してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(総務部危機管理防災課・消防対策室)</p> <p>マイノリティーに配慮した避難所運営につきましては、東日本大震災をはじめさまざまな災害の経験や教訓を踏まえ、ニーズの違いなど、様々な視点への配慮が重要であると存じており、平成30年3月に策定した避難所運営マニュアルにおいては、これらの方々に配慮した対応を行うこととしております。今後におきましては、当該マニュアルが実際の避難所運営に反映されるよう、総合防災訓練などを通じて、地域防災リーダーをはじめ市民の方々に周知を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(総務部危機管理防災課)</p> <p>災害時の河川に係る対応につきましては、これまでも、北上川上流大規模氾濫減災協議会や岩手県水防協議会等において、気象台等関係機関も交えて国及び県と情報交換を行ってきたものであり、今後におきましても、災害時に迅速かつ正確な避難情報の発信など適切な対応をとれるよう、密接な情報交換を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(総務部危機管理防災課)</p> <p>南青山町に建設される災害公営住宅につきましては、これまで、地域住民の意見が住宅建設や地域のまちづくりに反映されるよう県や復興支援センターと連携しながら取り組んでまいりました。今後におきましても、他の地域におけるコミュニティづくりのノウハウを生かし、地域住民と意見交換を行いながら、入居者との交流を育む機会を持つなど、双方の不安解消に努め、良好な関係づくりに向けた支援を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(総務部危機管理防災課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員採用では、障がい者法定雇用を維持するようにされたい。 	<p>障がい者の法定雇用率につきましては、平成29年度から、これまでの身体障がい者に加え、知的及び精神障がい者も対象とした特別枠の採用試験や、「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した非常勤職員の採用により、必要人員は充足しているところですが、市を始めとした公的機関は、障がい者の方々の雇用の促進について民間事業主に対し率先垂範すべき立場にありますことから、特別枠の採用試験のほか、非常勤職員の名簿登録制度を会計年度任用職員制度に移行後も継続するなど、引き続き、障がい者の雇用の場の確保に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員については、継続雇用される非常勤職員の生活に支障をもたらす様な給与設定を行わないこと。 	<p>会計年度任用職員の給与については、これまでの年収水準を維持するよう設定したところですが、現在雇用されている非常勤職員が継続して会計年度任用職員として雇用された場合には、時限的な経過措置として、これまで受けていた報酬月額の水準で毎月受給できるよう設定いたします。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 市役所の建て替えについて、場所や合併協定書を含め、市民アンケートも実施して頂きたい。早期に構想を明らかにされたい。 	<p>現庁舎は、分散化や来庁者の利便性のほか、防災機能の面でも課題があるものと考えており、加えて、東北の拠点都市としての都市機能の充実強化の面でも、市役所の建て替えについては、重要な課題として本格的に考えなければならない時期に来ているものと考えております。</p> <p>建設規模や場所及び整備手法はもとより、将来の人口構造の変化やAI技術の進展などの社会情勢を考慮し、市民の御意見も伺いながら、適切な時期に構想を明確化できるよう、スケジュール策定に向けて、鋭意取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 条例を制定するだけでなく、条例の廃止や時代にあった条項の変更も行われたい。 	<p>条例の廃止や条項の変更につきましては、法令として一定の規律性を保ちながら、関係法令の改正や施策の方向を考慮し、検討を加え、必要な改正や廃止を行っております。</p> <p>今後とも必要に応じて所要の措置を講じてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部総務課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未利用市有財産の処分や活用を促進されたい。旧消防署跡地を貸駐車場にするなど当面の利用もされたい。 ・ 自治体クラウドにおける行程や方針を早期に示されたい。 ・ 情報公開を更に進める観点からも、書類の電子化の促進をされたい。 ・ 賃金条項を設けた公契約条例を制定されたい。 	<p>盛岡市総合計画の実施計画において、平成27年度から31年度までの5カ年の活用目標額を18億7千万円と定め、未利用市有地の処分・貸付等の有効活用に取り組んでおります。消防署跡地については、ご要望があれば駐車場として貸しているところですが、今後も未利用市有財産の効率的な利用を促進するとともに、新たな利活用の方法について研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p> <p>自治体クラウドの導入については、情報システムの運用コストの圧縮の観点から有効であるとして、国において全国の自治体クラウドの先進事例等を分析し、その成果を活用して取組を加速することとしております。一方、自治体クラウドによるシステムの広域化・共同化については、自治体間で異なるシステム・費用の調整等の詳細な検討が必要であることから、現有システムの更新時期等を考慮しつつ、ICT利活用推進指針を踏まえながら、クラウド化についての情報収集や、他自治体との意見交換を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部情報企画課）</p> <p>本市における書類の電子化については、現在、職員の作成する多くの書類が電子化されており、電子データでの提供が可能な書類については、市公式ホームページによる各種情報の公表のほか、市民や企業等が公共データを利活用できるようオープンデータによる情報の公開・利活用の推進に努めているところであります。</p> <p>一方、電子化されている書類の中で、予算書や決算書など、ホームページ等での公開に対応した様式となっていないものや、不開示情報が含まれた書類があるなど、公開にあたっては、課題もあるところです。</p> <p>今後におきましては、ICT利活用推進指針を踏まえながら、電子データでの公開に対応した各種様式の見直しや不開示情報を含む書類の取扱いなど、情報公開を進める観点から検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部総務課・総務部情報企画課）</p> <p>[財政部契約検査課にて回答]</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【財政部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <p>・ 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形とされ、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。また、複数年にわたり指定管理や委託事業を受託している場合賃上げや労働条件が向上するよう指導されたい。デフレからの脱却の観点で指定管理費や委託費を上げていただきたい。</p>	<p>指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。</p> <p>また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価の実施や、統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。</p> <p>指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。</p> <p>業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。</p> <p>労働条件につきましては、当該受託者が実情に応じて定めるものと存じますが、当該受託事業の適切な実施の観点から、適正な労働環境の確保に向け、意識の啓発に努めており、指定管理者制度においては、指定管理者選定の際の審査項目に「適正な労働条件の確保」を設けるとともに、賃金や労働時間などの労働条件について定期的に調査を行うなど、その把握に努めているほか、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、関係機関の協力を得て、労働条件等に関する研修を行うなど、意識の向上を図っております。</p> <p>また、指定管理料や委託料については、指定管理や業務委託が適正に実施されるように、仕様書などに基づき物価上昇や賃上げ等も鑑みて算出しているところであり、指定管理料の上限額算定に当たっても、物価上昇や賃上げ等に対し、指定管理者による柔軟な運営が可能となるよう、用途の定めのない「一般管理費」を計上するなど、新たな算定基準による運営についても見直しを行っております。</p> <p>この一般管理費により、人件費の改善などの実績を積み上げていただいたものを、指定管理者更新手続きの際の上限額算定に適切に反映させることで、労働環境の改善に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課・財政部資産経営課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【都市整備部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <p>・ 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を促進されたい。また盛岡動物公園については計画の進行状況等を出来るだけ細目に市民に提供していただきたい。</p>	<p>岩山公園につきましては、令和元年度に策定した「岩山エリア公民連携事業基本計画」に基づき、リードプロジェクトである盛岡市動物公園の再生事業を推進し、岩山エリア全体として活性化を目指してまいります。</p> <p>アクセス道路となる市道岩山2号線につきましては、平成22年度から道路改良事業に着手しており、歩道が未整備である新庄浄水場付近から旧漆芸美術館方向の約750m区間を事業区間として、平成29年度までに新庄浄水場付近から市道つつじが丘団地線までの約180mが完成しており、残り約570m区間につきましては、早期に事業効果を発現できるよう予算の確保に努め、令和4年度の完成を目指して事業を進めてまいります。</p> <p>また、盛岡市動物公園につきましては、公民連携事業により民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的とし株式会社もりおかパークマネジメントが市の代理人として、盛岡市動物公園再生事業計画を具体化していくこととしており、今後、具体の設計や計画に一定の進捗がみられるごとに、随時、市民や議会に情報提供してまいります。</p> <p>旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（都市整備部公園みどり課・建設部道路建設課・総務部管財課）</p>

部

政

財

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【総務部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 賃金条項を設けた公契約条例を制定されたい。 	<p>賃金条項を設けた公契約条例の制定につきましては、労働者の賃金水準確保の問題は、労働・賃金政策にかかわる全国的な問題であり、各自治体が個別に条例で規制するものではなく基本的に国が法律で整備するべきものと考えておりますが、賃金条項のある条例を制定した場合における最低賃金法との抵触問題、条例適用労働者と適用外労働者との賃金格差問題など条例の課題について研究を進めるとともに、公契約における適正な労働条件確保のための法整備について、全国市長会等を通じ国に要請してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(財政部契約検査課)</p>
<p>【財政部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 県と市の連携による施設の合築を促進されたい。計画を作り公表されたい。 地域の税収が一定程度地区で執行できる枠組みを検討されたい。 予算編成について、部局横断的かつ弾力的な運用や地域要望にそった施策を実施されたい。 	<p>県と市の連携による施設の合築については、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の中で、施設保有の最適化に向けた取組に「県や周辺自治体とのサービス連携」を掲げておりますが、今後の課題として、市と県・周辺自治体の有する公共施設の最適化のため各自治体間での相互利用や連携した施設更新などの検討について取り組むこととしており、個別施設の整備に当たっては、それぞれの施設の状況を勘案した上で、合築など各自治体間の連携の可能性についても検討することとなります。</p> <p>可能性を協議した結果、連携した取組として実施することとした場合には実施計画に反映させ、整備手法等についての検討を進めていくこととしております。</p> <p style="text-align: right;">(財政部資産経営課)</p> <p>毎年度の予算編成において、限られた財源を有効に活用するために事務事業の優先度及び緊急度等全庁的に判断し予算計上しておりますことから、税収を一定程度地区で執行できる枠組みにつきましては、当面難しいものと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(財政部財政課)</p> <p>令和2年度予算編成に当たっては、引き続き「総合査定方式」による予算編成を行うこととし、歳入見込みに基づいて経費区分毎に一件査定による細かい事業経費の総点検を行うことにより、適正経費の計上に努めることとしております。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答 略
<p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等整備基金の計画的な積み増しを図られたい。予防管理の視点を導入すすめられたい。 ・ 岩手競馬の収支および今後の運営の見通しの説明とあわせて融資についての回収の方向性を示されたい。安定的な競馬事業のための体制づくりを強化されたい。 	<p>これまでも、市が抱えている喫緊の課題に対して部局横断的に取り組む戦力プロジェクトの事業を中心に限られた財源をより効果的に市民福祉の向上や地域要望に反映させるという視点で所要額を確保してきたところであり、今後もそのような考え方で対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(財政部財政課)</p> <p>「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」事業及び長寿命化に資する関連修繕を円滑に実施できるよう期間中の所要財源の一部として、令和元年度の10月補正予算においても約3億8千万円を積立てたところであり、今後も基金の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(財政部財政課)</p> <p>(1) 岩手競馬の収支 岩手競馬の令和元年度第10回盛岡競馬(4/6~11/4)までの発売額は、計画額27,895百万円に対し、実績額30,731百万円、計画達成率は110.2%と堅調に推移してまいりました。しかしながら、岩手県競馬組合では、年間収支見通しについて、禁止薬物陽性馬の発生による開催取止めの影響を慎重に検討していると伺っております。</p> <p>(2) 今後の運営の見通し 岩手県競馬組合では、次の方針により事業運営を行うこととしております。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 禁止薬物陽性馬の再発防止対策の強化による競馬の公正確保 ② 収益構造の変化や馬資源の確保など、岩手競馬を取巻く環境の変化や課題に的確に対応 ③ 「新しい岩手競馬組合改革計画(平成18年11月策定)」の収支均衡ルールの下、「岩手県競馬組合競馬事業収支改善計画(平成23年8月策定)」の着実な推進 <p>(3) 融資について回収の方向性 本市では、岩手県競馬組合に対して、禁止薬物陽性馬に係る市民や競馬ファンの信頼を一日も早く回復することにより収益を確保し、施設の改修や、馬資源の確保、構成団体からの融資の償還などを総合的に判断し、安定した経営基盤を確立して、全力を挙げ</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収金解消のための施策の実施と収納率の向上を図られたい。同時に市の債権の名寄せを実施され回収を措置されたい。 広告収入を確保されたい。 	<p>て岩手競馬の存続に取り組むことを期待しているところです。今後におきましても、融資の返済を継続的に行うよう申し入れを行ってまいります。</p> <p>(4) 体制づくりの強化 岩手県競馬組合では、将来にわたる安定的な事業運営が確かなものとなるよう、岩手競馬の魅力向上やお客様サービスの充実に努めるとともに、老朽化した施設の計画的な改修や経営体質の一層の強化に取り組んでおりますことから、盛岡市といたしましても、他の構成団体と連携し、引続き経営の健全化に向け、意見を述べてまいります。 (財政部競馬組合経営改善対策事務局)</p> <p>収納率の向上対策につきましては、平成14年に市税等収納率向上対策推進本部を設置し、以後、収納率の向上及び累積滞納の縮減を図るべく、本部方針の下に取組みを強化してまいりました。 令和元年7月に開催した上記本部会議において ① 収納率向上による自主財源の早期確保 ② 事務等の随時見直しによる収納や徴収環境の整備 ③ 滞納整理等に係る具体的な数値目標の設定 を令和元年度の基本方針とし、目標収納率を97.60%としたところであり、市税等の自主財源の確保及び納税者の負担公平性を図るため、厳正で的確な滞納整理や効率的な収納体制の整備などをより一層進め、全庁を挙げて取り組んでおります。 令和2年度におきましても、納税推進センターを活用して早期収納に向けた納税勧奨を行うほか、事務の効率化を図りながら滞納整理を積極的に進め、収納率の向上及び累積滞納の縮減に向け、職員が一丸となって取り組むこととしております。 債権の名寄せにつきましては、原則、賦課担当所管課が徴収までを一元的に行うこととしておりますが、公債権につきましては、引き続き必要に応じ納税課及び税外歳入担当課が連携して取組み、歳入の確保を図ってまいります。 (財政部納税課)</p> <p>市広報やホームページ、各種印刷別への広告掲載のほか、新たな広告媒体として、ネーミングライツやスポーツ施設広告掲出事業など、広告収入を確保する方策を図ってまいり</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形とされ、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。また、複数年にわたり指定管理や委託事業を受託している場合賃上げや労働条件が向上するよう指導されたい。デフレからの脱却の観点で指定管理費や委託費を上げていただきたい。</p>	<p>ます。</p> <p style="text-align: right;">(財政部財政課)</p> <p>指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価の実施や、統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。</p> <p>指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。</p> <p>業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。</p> <p>労働条件につきましては、当該受託者の実情に応じ対応されるべきものと存じますが、当該受託事業の適切な実施の観点から、適正な労働環境の確保に向け、意識の啓発に努めており、指定管理者制度においては、指定管理者選定の際の審査項目に「適正な労働条件の確保」を設けるとともに、賃金や労働時間などの労働条件について定期的に調査を行うなど、その把握に努めているほか、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、岩手労働局の担当者を招き労働条件等に関する研修を行うなど、意識の向上を図っております。</p> <p>また、指定管理料や委託料については、指定管理や業務委託が適正に実施されるように、仕様書などに基づき物価上昇や賃上げ等も鑑みて算出しているところであり、指定管理料の上限額算定に当たっても、物価上昇や賃上げ等に対し、指定管理者による柔軟な運営が可能となるよう一般管理費を加算するなど、新たな算定基準による運営についても見直しを行っております。なお、実施団体からの意見聴取については、引き続き丁寧な意見聴取に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(総務部職員課，財政部資産経営課)</p>

部

出

市

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会への補助金を増額されたい。 ・ 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。 ・ 自転車事故防止のために、自転車保険制度の周知や車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を引き続き強化していただきたい。 	<p>平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、使途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしました。</p> <p>なお、町内会・自治会活動への支援のあり方について、令和3年度から新たな計画期間を迎える「盛岡市町内会・自治会協働推進計画」の見直しの時期に合わせ、現在、町内会・自治会の方々から御意見を伺っているところでありますので、次期計画の策定作業の中で検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p> <p>市でお願いしております地域における様々な活動の担い手につきましては、それぞれの地域に精通した方に担っていただく必要がありますことから、各町内・自治会からの推薦を基に委嘱をさせていただいております。</p> <p>このような状況の中、平成29年度に「もりおかNPO連絡協議会」が実施した「町内会・自治会アンケート」の結果では、会長の年齢は60歳代以上が約90%を占めており、さらに、会長職の在職年数は4年以上が約68%（5年以上は約59%）となっている状況であります。これらを踏まえ、役員の担い手が硬直化しているものと、市としても認識しているところであります。</p> <p>委嘱に際して、地域の方々をお願いするにあたりましては、特定の方に役員が集中しないよう関係各課で情報共有を図るとともに、推薦をお願いした町内会等の役員の方々から状況を伺うなど、地域の方々への負担が大きくなるよう配慮してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p> <p>自転車事故防止のための指導につきましては、毎月8の日（岩手県自転車安全指導の日）に、関係機関と合同で街頭や駅駐輪場における安全利用の呼びかけやルール・マナー違反者への指導を行っているほか、交通指導員による通勤通学時における街頭指導、交通安全指導専門員等による小・中学校における交通安全教室、学校や警察との連携による高校生や大学生を対象とした学校周辺での通行指導などを行っているところであります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【総務部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北初となる同性パートナーシップ条例を制定されたい。そのためのパブリックコメントを実施されたい。 	<p>性的少数者のカップルを自治体が認証する同性パートナーシップ制度につきましては、令和元年12月現在で31の自治体が条例または要綱等を定めて制度を導入しております。</p> <p>当市におきましては、令和元年6月に制定した「盛岡市男女共同参画推進条例」の趣旨を市民に広く周知していくことから進めてまいりたいと存じ、現在、策定を進めている「第3次盛岡市男女共同参画推進計画」において、性の多様性についての理解と関心を深め、性的少数者に対する偏見や差別等を解消するための啓発や講座などの取組により、市民意識の醸成を図ることとしております。</p> <p>同性パートナーシップ制度の導入につきましては、他市において、制度を導入することによって市民の理解が進むことを期待して実施している事例もありますことから、性的少数者の方々の生きづらさの解消などに対し、どのような施策が効果的かなど、他市の導入事例を参考とし、当事者の方々や関係団体から御意見を伺いながら判断してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課男女共同参画推進室)</p>
<p>【市民部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい。冬季五輪招致や冬季アジア大会のための調査をされたい。 	<p>国際レベルの大会を開催することは、地域にインフラ整備効果や経済効果などをもたらすほか、トップアスリートの競技を間近に観戦できることで、市民のスポーツ人口の拡大や競技力の向上にも寄与するものと考えております。また、その一方で誘致に向けた市民意識の醸成、誘致体制の構築、又は経済的負担などの課題があるものと存じております。</p> <p>市といたしましては、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致及び受入れ実績や、中止にはなりましたが2020年のクライミングアジア選手権の誘致、その代替となる第3回コンバインドジャパンカップの開催の経験を生かし、盛岡広域スポーツコミッションと連携しながら、冬季スポーツ大会誘致につきましても視野に入れながらスポーツツーリズムの推進の中で検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部スポーツ推進課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>・ 新市営球場は県営野球場との合築にしてハイグレードな施設としていただきたい。また、スポーツ関連施設の集積（官民）を図りたい。</p>	<p>また、自転車保険制度の周知につきましては、交通安全教室の際に交通事故の責任と賠償の説明など学年に応じた講話を行うほか、街頭指導等の際に保険加入促進のチラシを配布し、保険加入の呼びかけを行っているところであります。</p> <p>今後におきましても、警察や交通安全協会などの関係機関と連携し、自転車利用における交通ルールの遵守を呼びかけ、自転車事故の防止を図るとともに、街頭指導や広報の活用などにより保険制度の周知に努め、自転車の安全利用の促進に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部くらしの安全課）</p> <p>盛岡南公園野球場（仮称）の整備につきましては、県と共同整備することとし、これまで野球場、屋内練習場、駐車場、外構その他必要な施設等の整備について県内全域を対象としたパブリックコメントを行いながら整備基本計画を策定し、事業に取り組んできたところであります。</p> <p>野球場の規模は、これまで岩手県営野球場で行われてきた高校野球岩手大会やプロ野球1軍公式戦に対応する野球場を基本とし、収容人員を2万人、両翼100m、中堅122m、フィールドを人工芝とし、夜間照明を備えるほか、バックネット裏に屋根を設置し、バックスクリーン上部に大型映像装置を兼ね備えたスコアボードを設置することとしたところであります。</p> <p>屋内練習場は、50m×50mの野球場と同様の人工芝フィールドとし、1・2階にランニングコース、子ども用のネット遊具やボルダリングウォール、そのほかカフェスペース等を整備する予定としております。</p> <p>また、事業手法には、財政負担の平準化や、より質の高い市民サービスの提供が期待できる民間活力を活用したPFI(BTO)方式としております。</p> <p>今後も引き続き、民間事業者の創意工夫を取り入れながら県と協力し、整備に取り組んでまいります。</p> <p>スポーツ関連施設の集積につきましては、スポーツ施設適正配置方針の考え方や民間活力を生かした整備手法の検討など幅広く研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市民部スポーツ推進課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Jリーグ対応のため、サッカー場の夜間照明施設の設置を行っていただきたい。 ・ 体操競技力向上のために市の施設における体操専門の施設使用ができるようにされたい。 ・ 国民健康保険税の据え置きを続けていただきたい。また、子育て支援の観点から国保の「子どもも均等割減免」制度を導入されたい。 	<p>いわぎんスタジアムへの夜間照明施設の設置につきましては、いわてグルージャ盛岡がJリーグライセンスの交付を受けるため設置が必要であるものと存じております。</p> <p>設置にあたっては、多額の費用が見込まれますことから、国の補助金制度の活用や岩手県からの財政支援、そして、企業版ふるさと納税などの民間資金の活用など財政的な裏付けを明確にしながら検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市民部スポーツ推進課)</p> <p>体操専門の施設使用としては、現在、旧川目小学校屋内運動場を体操競技を普及させるための練習用施設として岩手県体操協会に対して無償の賃貸借契約により使用していただいているところであり、岩手県、盛岡市の体操競技力向上のため、引き続き使用していただく予定としております。</p> <p>なお、旧川目小学校屋内運動場は廃校施設であることから、施設の大規模改修等を想定しておらないため、将来的な活動場所については、岩手県体操協会と協議を行ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部スポーツ推進課)</p> <p>国民健康保険は、他の保険者同様、医療の高度化や高齢化の進展等の影響により、一人あたりの医療費が伸び続けている一方、被保険者数は、75歳に到達した方の後期高齢者医療制度への移行や、雇用状況の改善により、他の医療保険に加入する方が増えている影響もあり、減少傾向に歯止めがかからない状況です。</p> <p>平成30年4月から都道府県が国保の財政主体となる「都道府県化」に移行し、都道府県は医療給付に係る費用を全額市町村に交付する一方で、その費用に充てるため、医療費水準や所得水準に応じて算出する「事業費納付金」を市町村に課す仕組みとなっております。</p> <p>本市の場合、30年度当初予算において、本来であれば保険税率の見直しを行わなければならない状況でありましたが、国保財政調整基金を取り崩すことにより歳入歳出の均衡を図り、税率改正を行わない方針としたところであります。</p> <p>市民が安心して医療を受けられる機会を確保することが重要でありますことから、交付金等の積極的な確保や特定健康診査をはじめとする保健事業の充実強化による医療費適正化の推進、積み増しを行ってきた国保財政調整基金を活用すること等により、現</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合プール・アイスリンクの近くに、ミーティングが出来る程度の広さの部屋を備え、長期滞在が可能で安価な合宿用宿泊施設を設置していただきたい。 ・ 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。 ・ 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進され 	<p>在の保険税率を少しでも長く維持できるよう努めてまいりたいと存じます。</p> <p>また、子どもの均等割減免につきましては、現行制度において、国や県からの財源補てん等がなく、その負担は他の加入世帯が負う仕組みとなっておりますことから、市の国保の財源による新たな軽減の導入は、現時点では難しいものと存じております。</p> <p>子どもの均等割軽減につきましては、少子化対策の観点からも、市町村独自の取組によるのではなく、国からの財源措置を含めた制度の創設について、全国市長会等を通じ、引き続き、要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部健康保険課)</p> <p>総合プールやアイスリンクの近接地への合宿用宿泊施設の設置につきましては、利便性が向上すると存じますので、民間活力を生かした整備手法の検討など幅広く研究してまいりたいと存じます。なお、当面は、スポーツに関する知識及び技術の修得並びに宿泊のための施設を提供することにより、スポーツを行う者の競技水準の向上を図るとともに、スポーツへの市民の参加を支援するために設置いたしましたつなぎスポーツ研修センターの利用率及び利便性向上に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部スポーツ推進課)</p> <p>空き家の管理に係る不動産会社との連携につきましては、適正に管理されていない空き家等の所有者に対する助言・指導を行う際に、不動産会社による空き家等を巡回するなどの管理サービスの情報を必要に応じて提供しており、また、不動産関係団体と連携し、空き家等に関する無料の相談会を定期的を開催しているところであります。</p> <p>今後におきましても、不動産会社など関係機関と連携を図りながら、空き家等が適正に管理されるよう取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部くらしの安全課)</p> <p>[空き家の再活用については、都市整備部関係で回答]</p> <p>ゾーン30の導入促進につきましては、ゾーン30は、主に生活道路が集まっている区域に通学路が含まれている場合において整備が進められており、市内では、杜陵、本宮、土淵、</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>たい。ゾーン30のできない通学路は速度の出ない道路構造とされたい。</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <p>・ 町内会管理の自立柱の大規模修繕の際の支援策を講じられたい。</p>	<p>見前、向中野の各小学校周辺にゾーン30が指定され、区域内における歩行者等の通行の安全確保を図っているところであります。</p> <p>今後におきましても、通学路における歩行者の安全確保を図るため、ゾーン30の導入をはじめとした、地域の交通環境に合った安全対策について、警察など関係機関と連携を図りながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部くらしの安全課)</p> <p>[道路構造については、建設部道路管理課で回答]</p> <p>町内会管理の自立柱を交換・修繕する場合は、補助率6/10、上限額25,000円/本の補助制度がございます。</p> <p>また、公衆街路灯LEDリース事業における現地調査において、老朽化した自立柱の存在が確認されたことから、平成30年度からは、自立柱を撤去する場合に、補助率7/10、上限額35,000円/本の補助制度を創設したところです。</p> <p>なお、町内会・自治会を対象として自立柱の損害賠償責任保険制度の説明会を令和2年1月に開催する予定であり、町内会が管理している自立柱に対する支援のあり方につきましては、今後も引き続き検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p>
<p style="text-align: right;">【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <p>・ 飯岡十文字からシティーマラソン折り返し地点の旧盛岡和賀線と現在の盛岡和賀線の交差点について市道側から和賀線に右折レーンと右折信号機を設置されたい。</p>	<p>信号機の設置などの交通規制に関することは岩手県公安委員会の所管事項となっております。右折信号機の設置につきまして、所轄の盛岡東警察署に御要望を伝えたところ、設置に向けて検討を進めているとの回答をいただいたところであります。</p> <p>市といたしましては、継続して検討状況を確認してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部くらしの安全課)</p> <p>[右折レーンについては、建設部道路管理課で回答]</p>

部

境

環

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【環境部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源再利用を促進するためにストックヤード設置した際に雪捨て場同様の固定資産税減免制度の導入と補助率の増強を図りたい。ストックヤード設置補助は通年受けられる体制とされたい。 ・ エネルギー供給先の見直し電気料金の削減を実施されたい。 ・ エネルギーシフトをはかり、地産のエネルギー自給率の向上を図りたい。 ・ 中小水力発電や風力発電、木質バイオマス発電の積極導入やスマートハウスの導入などエネルギー施策の展開と地域活性化の導入策を図りたい。 	<p>雪置き場と同様の制度導入には、市全体のストックヤードの実態を把握する必要がある。土地の所有状況や有償・無償による貸付等を確認しながら検討してまいります。</p> <p>ストックヤードの助成につきましては、申請が年間数件程度であり、現時点で補助率の見直しは検討しておりません。また、予算確保に重要であることから、前年度における設置の要望調査を継続してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(環境部資源循環推進課)</p> <p>電力の供給先につきましては、市庁舎においては平成29年7月に、小中学校等においては平成30年2月に、市立病院においては平成31年2月に、それぞれ見直しを行い、電気料金の削減を図ったところであります。また、上下水道局においても見直しを進めており、令和2年度から実施する予定となっております。</p> <p style="text-align: right;">(環境部環境企画課)</p> <p>循環型社会の構築に向けたエネルギー地産地消を目的に、平成29年度から市クリーンセンターのバイオマス発電による電気の売電と小中学校等への電力供給を同一事業者とし、地産エネルギーの自給率向上を図っております。</p> <p>今後につきましても、再生可能エネルギーの普及促進を図り、地産エネルギーの自給率向上に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部環境企画課)</p> <p>中小水力発電につきましては、水利権の調整や維持管理負担の大きさ、また、風力発電につきましては、風速が強い山間部や丘陵地などの適地における景観保全や生態系への影響など、採算性や事業費確保も含めて課題が多く、市単独での導入は難しいものと考えておりますが、発電事業を計画する民間事業者に対しましては、盛岡市再生可能エネルギー発電設備の設置に関する指針に基づき指導しながら、可能な支援を行い導入の促進を図ってまいりたいと存じます。</p> <p>木質バイオマス発電につきましては、市域における木質バイオマス燃料の供給体制がなく、大型発電の導入は難しいものと考えておりますが、木質バイオマスエネルギーは森林</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ処理広域化における新クリーンセンター最終候補地の決定は地域住民の合意を前提とされたい。 ・ ゴミ集積所における貸監視カメラ事業を実施されたい。 	<p>が7割を占める本市において地域特性に適した再生可能エネルギーと認識しておりますことから、熱利用も含めた活用を図るため、関係部署と連携し、木質バイオマス利用推進アクションプランに基づき、市公共施設への木質バイオマス機器の導入や燃料供給体制の構築による地域活性化などに取り組んでまいります。</p> <p>また、住宅で使用するエネルギーの管理・標準化を行うスマートハウスは省エネに効果的であることから、平成28年度から住宅用太陽光発電システムの導入と併せて設置するホームエネルギーマネジメントシステムへの補助を実施しており、今後もその普及促進に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部環境企画課)</p> <p>県央ブロックにおける新たなごみ焼却施設の整備予定地の選定につきましては、平成31年3月に開催した県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会において「盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地とし、地域との協議を優先して継続する。」としており、説明会、懇談会等を重ねてきているところであります。</p> <p>引き続き、地域住民等との対話を重ね、施設整備に当たり環境対策に万全を期すことや、廃棄物エネルギーを有効に利活用した地域振興・まちづくりを進めること等への理解を深めていただけるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部廃棄物対策課)</p> <p>ごみ集積場所への監視カメラの設置につきましては、違反ごみ防止・抑止につながるものと存じておりますが、設置する際には、設置費用に加え、機器の管理や情報管理などの課題も考えられることから、他都市の事例も調査しながら、研究してまいりたいと存じます。</p> <p>違反ごみ対策につきましては、今後とも、きれいなまち推進員と連携し、掲示物による啓発活動や違反ごみが排出される頻度が多い場所等への職員の立合指導等による対応に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部資源循環推進課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量化に向けた具体的工程表を示されたい。またゴミ処理広域化の前提となる「ゴミの分別方法」の統一について工程を示されたい。 ごみ減量の観点から「フードドライブ」を推進されたい。 気候変動対策を強化されたい。盛岡市として「非常事態宣言」を発表して対策を講じられたい。 	<p>一般廃棄物処理基本計画の目標年度である令和8年度までに、1人1日当たりの家庭ごみ排出量や事業系ごみの排出量を10%削減する目標としており、これに向け盛岡市ごみ減量化行動計画を策定しております。具体的取組として、平成30年度から地区別データを活用した周知啓発を実施しており、容器包装廃棄物削減への取組に関する協定に基づく取組を平成29年度から実施しているほか、「事業系ごみの減量」では、令和2年度から資源化可能な事業系古紙のクリーンセンターへの搬入規制を始めるなど、ごみ減量に向けた各施策を計画的に展開しております。</p> <p>また、ごみ処理広域化に係るごみの分別方法の統一については、新たな焼却施設の稼働1年前までに、受け入れるごみの種類の標準を定めることとしております。</p> <p style="text-align: right;">(環境部資源循環推進課, 廃棄物対策課)</p> <p>「フードドライブ」を推進することにつきましては、SDGs（エスディーズ）への取組につながるとともに、食品ロスの削減、事業系ごみの減量、生活困窮者に対する食糧支援などに寄与するものでもあり、ごみ減量の観点からも重要なものであると存じております。</p> <p>これまでも、環境イベント開催時にフードドライブを実施することにより、未利用食料品の有効活用につなげておりますが、今後におきましては、各部署でのイベント開催時においてフードドライブを実施できるよう、庁内の連携により取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(環境部資源循環推進課)</p> <p>平成30年に制定された気候変動適応法に基づき、令和2年度に策定予定の盛岡市地域気候変動適応計画において、気候変動により生じうる被害を回避・軽減する方策について検討することとしており、「非常事態宣言」も含め気候変動対策の強化を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(環境部環境企画課)</p>

保健福祉部

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【総務部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が起きた場合、被害者に対する支援が速やかに行われるような体制を作っていたきたい。特に現行の被災者生活再建支援制度は持ち家の被害を基に実施されるため支援の取りこぼしを生み出している。災害以降の生活設計に支障を来さない制度に改革するよう尽力していただきたい。 	<p>災害が発生した際の被害者に対する支援体制につきましては、災害弔慰金等の支給や災害援護資金の貸付などを活用して、被災者の生活再建を支援しており、令和元年10月に発生した台風19号におきましても、借家・アパートに居住している方を含め、速やかに小規模災害見舞金の支給を行ったところです。</p> <p>また、国の被災者生活再建支援制度の改革につきましては、全国市長会による重点提言において、被災者生活再建支援法の適用についての対象拡大や、財政措置の充実を図ることについて、国に要望しております。</p> <p>今後とも被災者の早期の生活再建に資するよう、取り組んでまいりたいと存じます。 (保健福祉部地域福祉課)</p>
<p>【保健福祉部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の増進策およびインセンティブの導入を図られたい。 介護保険料の値上げを押さえられたい 	<p>健康寿命の増進策につきましては、平成27年度から令和6年度を計画期間とする「第2次もりおか健康21プラン」の中で、健康づくりの重点項目として「健診受診率を高めるための健康づくり情報の提供」、「食習慣の見直しによるスマートライフの推進」、「毎日プラス10分運動の推進」を掲げ、各種施策に取り組むことにより、健康寿命の延伸を図ることとしております。</p> <p>インセンティブの導入につきましては、市民の健康づくりを応援する手法として、健康づくりの取組をポイント化し、そのポイントで買物できるような仕組みを行っているところであり、平成30年度から、健康教室参加者に対しMORIO-Jポイントの付与を行っております。今後におきましても、効果的なインセンティブのあり方について引き続き検討しながら、市民の皆様の健康づくりを推進してまいります。 (保健福祉部保健所健康増進課)</p> <p>介護保険料につきましては、平成30年度から令和2年度を計画期間とする第7期介護保険事業計画におきまして、介護給付費準備基金の取り崩しにより引き上げの抑制を図り、基準額月額を第6期と同額の6,174円としたところであります。</p> <p>また、公費投入による低所得者の介護保険料の軽減強化を行い、第1段階から第3段階までの保険料率を軽減したところであります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護の適正な執行をされたい。自立支援の強化とあわせて、不正受給対策を強化されたい。 	<p>元年11月には、全国市長会を通じて、被保険者の保険料負担が過重とならないよう国庫負担割合の引き上げを要請したところであり、今後においても、引き続き要望してまいります。 (保健福祉部介護保険課)</p> <p>生活保護の実施については、受給要件の調査や世帯の生活実態の把握を徹底しているほか、関係機関との連携強化や研修等を通じ、査察指導機能やケースワーク技術の向上を図っております。また、国や県による生活保護法施行事務監査での指導等により事務改善を行うなど、生活保護事務を適正に実施しております。</p> <p>被保護世帯の自立支援については、公共職業安定所と連携した就労支援や就労支援相談員による求職活動支援を実施しており、求職活動に課題のある方に対しては、職場体験・ボランティア体験事業により、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を実施しております。また、内丸分庁舎内に「ハローワーク盛岡就労支援コーナー」を設置し、利用者の利便性の向上を図っております。</p> <p>不正受給対策については、保護開始時に平成31年3月に全面改訂した「保護のしおり」を交付し、権利・義務の説明を行っているほか、毎年度、課税状況調査を実施し、受給者全員の収入状況を確認しております。また、年に2回、権利・義務や不正受給防止に関するリーフレットを全保護世帯に送付するなどの防止策を講じております。</p> <p>今後におきましても、法令や実施要領等に基づき、生活保護を適正に実施してまいります。 (保健福祉部生活福祉第一課・第二課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者への中間就労支援を実施するための支援をして頂きたい。 	<p>生活困窮者への中間就労支援については、「就労準備支援事業」において、自立相談支援機関「盛岡市くらしの相談支援室」との連携により、市内の事業所の協力のもと就労訓練を実施しており、さまざまな課題を抱え就労に向けた準備が整っていない方を対象に中間的就労の機会を提供し、支援を行っております。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部生活福祉第一課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。 	<p>第7期介護保険事業計画においては、団塊の世代が75歳以上となる令和7年度を見据え、第7期中に見込まれる、緊急に対応が必要な入所待機者の増加に対応するよう、特別養護老人ホーム40床、介護老人保健施設60床及び認知症高齢者グループホーム36床を整備することとした</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体・知的障害など複数の障害のある人の支援策を強化されたい。 ・ 障がい者が地域で暮らせるよう仕組みづくりを講じられたい。特に、障がい者の高齢化に対して、施設設備の整備を推進されたい。 	<p>しました。</p> <p>平成30年度は、特別養護老人ホーム20床、認知症高齢者グループホーム18床の整備をし、元年度末までに、特別養護老人ホーム20床、認知症高齢者グループホーム18床を整備することとしております。</p> <p>また、3年度以降の施設整備につきましては、3年度から5年度を計画期間とする第8期介護保険事業計画を2年度に検討し、策定することとしており、入所待機者の推移を注視しながら、今後、整備量を決定することとしております。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部介護保険課)</p> <p>(以下、空き施設などのあっせんなどについては、商工観光部経済企画課で回答)</p> <p>障がい者が利用できる医療費助成制度や、福祉タクシー助成券交付、日常生活用具給付等の支援事業、軽自動車税、バス運賃等の割引・減免制度等は、障がい種別や等級、病状により対象者が定められており、障がい種別が複数にわたる障がい者は、それぞれの障がい種別や等級、病状に応じて、要件に合う事業等を利用いただくことができます。</p> <p>障害福祉サービスの提供につきましては、障がい種別が1つの場合も複数にわたる場合でも、利用者の障がい種別や病状等を総合的に考慮し、日常生活全般における必要な支援の状況を調査の上、障害支援区分の設定や必要となるサービスの支給決定を行っており、今後も適切に調査や支給決定を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部障がい福祉課)</p> <p>障がい者が地域で暮らすための仕組みづくりについては、サービス提供事業者や相談支援事業者などの関係機関と支援会議を開くなどにより、ネットワークを構築して地域で安心して暮らせるよう支援を行っているところであります。</p> <p>また、障がい者の高齢化に対する支援につきましては、盛岡市自立支援協議会や盛岡広域圏障害者自立支援協議会などの場において、当事者及び支援機関等から、居宅で生活している障がい者が高齢化することに伴う生活の支援についての意見を伺っているところであり、高齢化した障がい者が入居できるようなグループホームを整備する事業者に対し、施設整備費を補助、支援してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部障がい福祉課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。 	<p>難病患者に対する支援につきましては、医療費助成制度の利用に係る周知を図るとともに、患者及び家族が、正しく病気を理解し、療養上の不安を解消して安心した療養生活を送ることができるよう、専門医による医療講演や個別相談、当事者同士の情報交換の場である「医療講演・医療相談会」を開催しております。また、保健予防課に療養上の相談窓口も開設しており、保健師が随時相談をお受けしております。</p> <p>また、「難病診療連携コーディネーター」（県が岩手医大に委託）と連携した在宅人工呼吸器装着者への定期訪問や、地域の医療・福祉関係機関の連携強化を図るため「在宅難病患者支援事業連絡会」を開催しております。</p> <p>また、難病患者であっても、その傷病の状態によって障害福祉サービス、補装具の支給、日常生活用具の給付などの制度の利用が可能でありますことから、民生児童委員の研修会や特別支援学校の保護者説明会等の機会を捉えて周知を図っており、今後におきましても、周知の徹底と支援の推進に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課）</p> <p>〔就労支援については、商工観光部経済企画課で回答〕</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困窮支援事業の学習支援を小学生、高校生にも拡大されたい。 	<p>生活困窮者を対象にした学習支援事業については、中学生を対象に市内3か所で月4回の無料の学習会を開催しているほか、長期休業中の臨時学習会の開催や送迎サービスの実施により、事業の充実を図っており、中学生と高校生を対象に、進学や中退防止のための就学支援相談員による訪問型の相談支援についても実施しております。</p> <p>また、学習会については、高校進学に重点を置いており、送迎サービスの実施により、参加者数が増加したことから、令和2年度についても中学生を対象に実施することとし、更に参加者数の増加につながるよう充実に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部生活福祉第一課）</p>
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひきこもり実態調査に則った具体的な支 	<p>ひきこもり実態調査に則った具体的な支援策の実施につきましては、令和元年度からは「多機</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>援策を実施していただきたい。特に中高年のひきこもり対策を講じられたい。</p>	<p>関の協働による包括的支援体制構築モデル事業」における「まるごとよりそいネットワークもりおか」を市社会福祉協議会に設置しており、各分野の専門家が、様々な分野の複合化した課題に対応するため、協力して解決にあたる相談窓口を設けております。</p> <p>今後とも、ひきこもり当事者やその家族が相談したいと思える体制の構築を目指し、ひきこもりの方に対する多様な支援の受け皿となる仕組みの構築について、研究してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部地域福祉課)</p>
<p>・ 身寄りのない高齢者等が入院・介護施設等へ入所する際の身元保証を実施する制度の実施を検討されたい。</p>	<p>身寄りのない方が病院へ入院したり、介護施設等へ入所したりする際に、身元保証を実施することにつきましては、厚生労働省から「身寄りがいない人の入院及び医療にかかる意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインの発出について」(令和元年6月3日付け医政総発0603第1号)により、医療機関に勤務する職員を対象として、この「ガイドライン」を、管下の医療機関に周知し、活用を促すよう通知がされております。</p> <p>つきましては、医療機関等において、身寄りがいない場合にも、患者等に必要な医療や介護サービスを提供することに取り組んでいるところであり、「ガイドライン」の趣旨・内容についても、広く周知に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部保健所企画総務課・保健福祉部介護保険課)</p>
<p>・ 成年後見人制度の充実、とその養成に力を尽くしていただきたい。</p>	<p>成年後見制度については、制度の利用促進を担う中核機関として、令和2年度に、盛岡広域5市町(盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町)の共同で盛岡広域成年後見センターを設置することを目指して取り組んでいるところであり、センター設置後におきましても、制度の周知や相談体制などの一層の充実を図ってまいります。</p> <p>また、成年後見人については、平成28年度から市民後見人の養成に取り組んでおりますが、今後の養成事業や活動支援につきましては、盛岡広域成年後見センターが担うこととしており、成年後見人としての知識及び技術の向上を図りながら十分な活動ができるよう体制整備を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部障がい福祉課、長寿社会課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>(保健所)</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物愛護センターの設置について県との協議や連携を早急を実施されたい。 ・ 保護動物の怪我や体調不良に対する治療を充実されたい。 ・ ペットの適正な飼育に対する啓発活動をされたい。 	<p>平成29年12月に県と市で動物愛護センター整備検討協議会を設置し、平成30年4月に、県市共同でのセンター設置を目指すとした基本構想を共に策定し、公表しております。今後さらに、設置場所や運営体制等の具体的な整備内容について検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部保健所生活衛生課)</p> <p>犬猫等の愛護動物を保護した場合の治療につきましては、保健所の獣医師が応急処置や投薬等を随時行っているところです。また、重度の傷病動物につきましては、岩手県獣医師会との委託契約により動物病院に治療を依頼しております。これにより、平成30年度は犬2頭、猫10頭の治療を実施したところです。さらに、投薬や治療が長期に渡る場合、市民ボランティアに保護猫を預かっていただき、家庭で手厚く看護していただく取り組みを平成29年度から実施しております。今後も、獣医師会や市民ボランティア等の協力を得ながら、保護動物の状態に応じた適切な処置を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部保健所生活衛生課)</p> <p>動物愛護精神とペットの正しい飼い方の普及啓発は、ペットに関するマナー違反や住民間のトラブルに対する解決、保健所における愛護動物の保護・殺処分頭数の減少に繋がる重要な業務の一つであると考えております。このため、毎年、犬のしつけ方教室や動物愛護フェスティバル等のイベントを開催して動物についての知識や理解を深める活動のほか、広報やラジオ等を通じて正しい飼い方やマナーの向上を呼びかけております。また、飼い主がいない猫に関する相談を受けた場合には、その地域の住民に対し、不妊手術など繁殖制限をした上でえさやトイレを衛生的に管理する活動(地域猫活動)を支援する等、飼い主がいない猫についても適正飼養の普及啓発に努めているところであります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部保健所生活衛生課)</p>

部 来 来 也 子

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【子ども未来部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乘せを実施されたい。 ・ 誕生死（死産）を経験した母親のケアを強化されたい。 ・ 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。飯岡小学校学区の児童館について複合施設の計画がありその建設は平成31年度となっているが盛南地区の児童増加が見込まれていることから、建設年度までの児童を預け入れる環境整備を図られたい。 ・ 通年を通じ待機児童の解消を図られたい 	<p>特定不妊治療につきましては、市の窓口や医療機関などを通じて制度の周知を図りながら、治療費の助成を行っているところであります。また、市単独の補助金上乘せにつきましては、平成31年度から特定不妊治療の継続者に対し、市独自の上乗せ助成を実施しているところです。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部母子健康課）</p> <p>誕生死（死産）を経験した方は、深い悲しみの中にあることから、関わり方については慎重に行う必要があることと思っておりますが、経験した方のケアは重要であると認識しており、相談があった場合には、グリーンケア等の情報提供を行う等、その方に寄り添ったケアに努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部母子健康課）</p> <p>児童センターの未設置学区につきましては、平成31年3月に策定した「児童の放課後の居場所づくりに関する方針」におきまして、見前、向中野、太田の小学校区について児童センターを順次整備することとしております。</p> <p>飯岡小学校学区の児童センターについては、当初、飯岡地区農業構造改善センターとの統合化を計画しておりましたが、児童の安全性を確保するため、計画を変更し短館で建設することとし、令和2年4月の供用開始に向け、現在建設工事を実施しているところであります。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子ども青少年課）</p> <p>平成31年4月1日時点の待機児童数は「ゼロ」となりましたが、10月1日時点の待機児童数は44人となっており、今後も、産休や育休明け、あるいは転入などに伴い利用希望が増加することが予想されます。現在「待機児童対策緊急プロジェクト」により遊休物件を活用した民間の小規模保育所の新設などを進めており、今後におきましても、年間を通じた待機児童解消に向けて、重点的に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子育てあんしん課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂など子どもの居場所づくりが広がっているが、実施団体のネットワーク化を図ると共に、様々な地域や年代の方が交流できるように市民への情報提供や啓発をされたい。 	<p>子ども食堂などの子どもの居場所づくりを実施している団体のネットワーク組織として発足した「子どもの居場所ネットワークいわて」において、団体間の情報共有、研修、広報啓発などの活動が行われており、市においてもこれらの活動に積極的に参加するなど、「子どもの居場所ネットワークいわて」の活動を支援しているところです。</p> <p>今後におきましても、様々な地域や年代の方が交流できるように、子ども食堂など子どもの居場所づくりを行っている団体の活動を市のホームページで紹介するなど情報提供に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。 	<p>子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業」につきましては、各団体の活動内容について、市のホームページで随時紹介しているほか、11月には活動報告会を実施し、市民、関係団体等に周知と情報提供を行ったところです。</p> <p>また、企業等を訪問し、補助事業の説明や寄付を呼びかけたところであり、今後も、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、積極的な周知に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を強化して頂きたい。また、そのための人員配置は不足のないようにされたい。 	<p>児童虐待に対する市民への周知につきましては、毎年11月に国が実施する児童虐待防止月間に合わせて、市のホームページや、保育園、幼稚園、小中学校など関係施設へのポスター配布により、国が開設する児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」の周知に努めているほか、児童虐待の防止を広く市民に呼びかける「オレンジリボン」の活動などを行っているところであり、さらには、教育・保育関係者や民生・児童委員の研修会においても啓発活動を行っております。</p> <p>受胎時からの切れ目のない支援につきましては、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援センターを一体的に運営することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めているところであり、人員配置につきましては、平成31年度より、職員を3名増員したところであり、また、県と人事交流を行うなど体制強化も図っております。</p> <p>今後におきましても、虐待対応件数や相談対応件数、継続支援ケースの推移等を見極め</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待について周知啓発の際に、虐待をしている親もパートナーからDVを受けている被害者であることも想定して児童虐待の啓発活動をされたい。 	<p>ながら、必要な体制の整備を図ってまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課，母子健康課)</p> <p>DVを想定した児童虐待の啓発につきましては、令和元年度の児童虐待防止月間において、新たに、国の「女性に対する暴力をなくす運動」と連動し、DVと児童虐待の防止の呼びかけが一体となったポスター掲出のほか、「女性に対する暴力根絶」のシンボルであるパープルリボン活動と児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボン活動の同時展開により、市民への啓発を図ったところであります。 今後におきましても、DVと児童虐待は密接に関連するものと認識しながら、国、県の動きと連動した効果的な啓発に努めてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所づくりや健全育成に関わる高大学生に対し単位認定や内申書記載などを行うよう、岩手県教育委員会や各大学に働きかけて頂きたい。 	<p>文部科学省は、学校以外の場における活動の成果を幅広く評価できるようにするため、高等学校や大学等において、ボランティア活動等に係る単位認定を認めているところであり、多くの学校が単位認定に取り組んでおります。 単位認定の制度の活用については、学校の判断によるところでありますが、子どもの居場所づくりや健全育成事業に関わることは、高校生や大学生にとって成長する機会となり、大変意義があるものと存じますことから、学校関係者と意見交換をしてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ひとり親への支援をワンストップ出来る体制を作って頂きたい。 	<p>ひとり親への支援につきましては、児童扶養手当の支給及び現況届受付会場での相談において、職業の安定や増収につながる教育訓練給付金の支給、子どもの進学資金等のための福祉資金の貸付など、ひとり親への支援をワンストップでできるよう努めているところであります。 ひとり親の世帯が抱える課題は、複雑・困難化の傾向にもありますことから、今後は、庁内関係課をはじめとして、関係機関や支援団体などとの連携をさらに強化しながら、支援を必要とする世帯に確実に支援の手が差し伸べられるよう、努めてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)</p>

商工觀光部

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【保健福祉部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。 	<p>〔介護施設、生活保護については、保健福祉部で回答〕</p> <p>空き施設などのあっせんについては、空き店舗等の情報について商店街等と連携し状況把握に努め、適宜に情報を提供してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p> <p>〔「難病患者に対する各種支援」については、「保健福祉部保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課」で回答。〕</p> <p>癌患者に対する就労支援につきましては、ハローワーク盛岡では専門相談部門で、仕事を選ぶに当たって悩んでいる方の相談を受け付けておりますほか、岩手産業保健総合支援センター等で、治療と職業生活の両立に関する相談を受け付けておりますことから、これら窓口の周知に努めるなどして、癌患者の就労の後押しを行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p>
<p>【商工観光部関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。 	<p>国際会議場の設置につきましては、国際会議の誘致に大きなアドバンテージとなり、I L Cの建設や関連施設の整備、研究者の集積など将来的な需要を考えますと、非常に興味深い内容と存じますが、その必要性につきましては、専用施設の需要見通し、施設の設置・運営主体、財源・整備手法、維持管理の問題なども含め、総合的な判断が必要と考えており、調査研究してまいりたいと存じます。</p> <p>また、国際会議の誘致についてであります。本市は会議・宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどソフト面の体制が整備されているほか、平成27年度にM I C E開催助成制度を創設したところであり、国際会議の開催環境は整っているものと存じておりますことから、今後におきましても、盛岡観光コンベンション協会や関係団体などと連携し、訪日外国人旅行者の受入態勢の整備を図りながら、国際会議の誘致促進に努めてまいりたいと存じます。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗対策の拡大と屋守事業などの仲介事業を市の事業として行えるよう、街中再生にむけた支援策を講じられたい。また、テーマ性をもった活用も考えていただきたい。 	<p style="text-align: right;">(商工観光部観光交流課)</p> <p>現在、空き店舗対策として、中心市街地エリアで空き店舗を活用し、新たに開業する方に改装費の一部助成を行うとともに、商店街の魅力向上を図るため、商店街等へのコンサルタントや講師の派遣のほか、盛岡市商店街連合会を通じたイベント支援、街路灯電気料補助、情報発信支援なども行っておりますが、家守事業などの仲介事業については、民間活力による事業運営が望ましいと考えており、商店街等と連携し、空き店舗情報の提供を行うとともに、市としての支援策について検討しながら、街なか再生につながるよう努めてまいります。</p> <p>また、テーマ性をもった活用につきましては、商店街等との意見交換などを通じて、活用情報の収集に努め、対応してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者や癌など治療中の方々の雇用を促進するための対策を講じること。 	<p>がんなど長期療養が必要な方々の就職を支援するために、盛岡公共職業安定所において、就職支援ナビゲーターを配置し、個々の患者の希望や治療状況を踏まえた職業相談・職業紹介等の就職支援を行っておりますことから、その周知に努めてまいります。また、商工関係団体に対し、働く意欲のある全ての者が、その能力を生かして希望する仕事に就き、地域において自立して生活していける社会を実現するという認識のもと、多様な人材の確保に努めるよう要請しておりますことから、引き続き商工関係団体に対する要請を行ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハローワークと連携した能力向上訓練の内容を充実して頂きたい。その事業の周知をされたい。 	<p>盛岡地域職業訓練センター等において実施されている公共職業訓練や求職者支援訓練等については、求職者等のニーズに応じて行われているものと存じております。事業の周知につきましては、これまでチラシの配架や市ホームページの活用などにより周知を行ってまいりましたことから、引き続きその周知に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口の社会減を減らすため、労働人口の目標値を定め雇用拡大を図られたい。 	<p>盛岡公共職業安定所管内の求人倍率は、令和元年10月末日現在において、53か月連続で1.0倍を超えており、就職者数は増加、求職者数は減少の傾向にありますことから、雇用拡</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡市として中小企業振興条例の制定を行い、中小企業振興を実効あるものにされたい。 ・ 観光における二次交通（バス、タクシー・レンタル自転車）利用促進策を講じられたい。 ・ 一日観光切符など鉄道・バス・観光施設一体となった切符を発行して頂きたい。 	<p>大を図るための労働人口の目標値の設定については予定していないところです。今後も若者の地元定着に取り組むとともに、企業誘致による雇用の場の創出に努めてまいります。 (商工観光部経済企画課)</p> <p>本市では、これまでも、中小商工業者の現状や意見等を把握しながら各種施策を展開してきたところであり、平成30年度に策定した「盛岡市商業振興ビジョン」や見直しを行った「盛岡市工業振興ビジョン」において、分野ごとに掲げた「目指す姿（将来像）」の実現のための基本方針やアクションプランを推進していくことがより効果的で実効性が上がるとの判断のもと、条例制定によらず、実現性の高い振興施策を体系的、計画的に推進することにより、中小企業の更なる振興を図ってまいります。 (商工観光部経済企画課)</p> <p>JR東日本や旅行会社の企画商品として、観光の目的地などでバスやタクシーを低料金で利用できるプランがありますが、今後も観光客のニーズに対応した商品開発を旅行会社などに働きかけるとともに、新規路線の可能性を含めた検討などをバス・タクシー事業者に働きかけてまいります。 また、市内には、盛岡観光コンベンション協会をはじめ複数のレンタサイクルの貸出拠点がありますほか、民間事業者によるシェアサイクル事業がスタートしておりますことから、「歩いて楽しむまち」や「まちなか観光」の推進に向けて、これらのPRに努めてまいります。 (商工観光部観光交流課)</p> <p>市内の一日観光を楽しめる旅行商品としては、JR東日本やバス事業者、旅行会社などの企画商品がありますほか、市ではモデルコースを設定し、市内の観光スポットなどをエリア別・テーマ別に紹介してきております。これらの観光スポットを回る交通手段として、盛岡都心循環バス（でんでんむし）や「盛南ループ 200」などが運行されており、都心循環バスは一日フリー乗車券も販売されているほか、この2路線を含む既存バス路線を活用した企画乗車券も販売されております。 今後におきましても、市内観光を手軽に楽しめる商品の開発をバス・タクシー事業者や旅行会社に働きかけてまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つなぎ温泉の活性化や観光業の活性化を図りたい。 ・ 産業まつりを盛大に開催されたい。工業系や誘致企業が市民に見るような展示として広い会場で実施されたい。 ・ 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。 	<p style="text-align: right;">(商工観光部観光交流課)</p> <p>つなぎ温泉の活性化に向けて、つなぎ温泉観光協会の活性化事業への支援を行っており、同協会では、広告宣伝のほか、御所湖まつりや御所湖一周ウォーキング大会の開催、鶯宿温泉との共同企画事業などを実施しております。また、定期的に意見交換の場を設定しており、今後におきましても、つなぎ温泉観光協会との連携を一層強化し、温泉を活用した足湯、手湯のほか、トマトの栽培や温泉卵の製造体験など、新たな観光振興の取組を広く発信するとともに、つなぎ地区の活性化に向けて、地域とともに取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部観光交流課)</p> <p>産業まつりは、盛岡地域の地場産品や盛岡ブランド品の宣伝啓発、市民の支持による地場産業の普及促進を目的に開催しており、広く市民及び消費者の一層の理解と支持を高め、地場産業の活性化とともに、特産品の消費拡大に努めているところであります。</p> <p>産業まつりにおいて平成28年度から工業系の地場企業の紹介をするブースを設置し、市内に立地する企業の事業内容や技術の紹介に取り組んでおり、平成28年度、平成29年度は2社、平成30年度は1社、令和元年度は2社の地場企業の紹介をしたところであります。</p> <p>また、盛岡の事業所を広く市民に知っていただくことを目的とし、平成30年度から盛岡テクノミュージアム設置事業に取り組んでおり、15の事業所に登録をいただき、工場見学等を受け入れていただいているところであります。</p> <p>工業系の展示につきましては、地場企業の製品や事業内容について市民等に理解・認識を深めていただくことで、盛岡市広域の優秀な人材の首都圏等への流出を防ぎ、市内における人材の確保・定着や新たな市場開拓、販路の拡大が期待できるものでありますことから、盛岡テクノミュージアム設置事業の取組を強化するとともに、費用対効果等を勘案しながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部ものづくり推進課)</p> <p>(仮称)新盛岡バスセンター整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <p>・ 岩手飯岡駅の橋上化とあわせ駅舎や駅周辺の活性化を図りたい。</p>	<p>市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。</p> <p>整備事業の推進にあたっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら策定した「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画(以下、整備基本計画)」に基づき進めることとしております。</p> <p>今後も「整備基本計画」に基づき、地元商店街等と連携しながら、エリア価値を向上させ、河南地区への来訪者を増加させることにより、賑わいの創出を図ってまいります。</p> <p style="text-align: center;">(商工観光部経済企画課, 建設部交通政策課, 都市整備部市街地整備課)</p> <p>[岩手飯岡駅の橋上化及び駅舎の活性化は建設部で回答]</p> <p>駅周辺の活性化については、商工会議所や地元商店会から意見をお聴きするなどし、そのニーズを確認しつつ、連携しながら、活性化が図られるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p>

部

林

農

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和元年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【農林部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者となりたいと思うような情報の提供や施策を講じられたい。 ・ 生産地の食を生かした地域活性化策を推進されたい。 ・ 林業振興策や森林の活用策を具体的にしめされたい。 	<p>新規に就農することの情報提供につきましては、市主催の農政フォーラムや現地見学会、岩手県農業公社主催の新農業人フェアなどの機会を捉えて、新規就農者と市民が交流できる場を設けているほか、盛岡農業改良普及センターと連携し就農相談を随時受け付けており、今後は更に充実した情報を市民に提供できるように努めてまいります。</p> <p>また、市独自の事業として、平成29年度に新設した親元で新規就農する55歳以下の後継者に対して、年間60万円を上限に最長2年間交付する親元就農給付金事業を継続しておりますほか、市長も自ら新規就農者を訪問し、市民への就農意欲の喚起にも繋がるよう激励する取組を進めているところです。</p> <p>今後におきましても、国の農業次世代人材投資事業なども最大限に活用しながら、農業者の育成・確保に向けた取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p> <p>生産地の食を生かした地域活性化策の推進につきましては、本市が推奨する「盛岡りんご」「津志田の芋の子」「アロニア」「行者にんにく」「もりおか短角牛」「黒平豆」の6品について、「美食王国もりおか」のウェブサイトを活用した魅力発信やファンクラブ会員向けイベントでの活用など、特産食材の周知に努めております。また、「盛岡の美味しいもんアンバサダー」のテーマ食材にも位置づけ、メニュー開発に取り組む飲食事業者等を支援するほか、市民が食材や生産者などに対する知識を深めることを目的とした産地見学ツアーの開催なども行っております。</p> <p>この一連の取組が、生産地の地域活性化に繋がるものと考えておりますことから、今後も引き続き「美食王国もりおか」の実現に向けた取組を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p> <p>林業振興策につきましては、市内の森林の多くが利用期を迎えていることから、森林資源の循環を進めるため、公共施設整備や公共工事等への市産材の積極的な利用、市産材利用住宅や店舗への助成、町内会等への市産材の支給、並びに木質バイオマスの普及促進などにより、市産材を中心とした木材の需要拡大を図るとともに、再造林に対する支援の強化を検討してまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和元年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 六次産業化の強化をされたい。農家レストランや農家民宿を推進する施策を岡られたい。 ・ 生產品の販売網の開拓や強化とあわせてまた、高付加価値品の栽培を検討されたい。 	<p>また、手入れが遅れている森林の整備を進めるため、令和元年度から譲与が始まった森林環境譲与税を活用し、森林経営管理の集約化に向けた取組を進めるとともに高校生等を対象とした林業等事業所見学会の開催などによる林業の担い手の確保、市産材ベンチ開発などによる市産材の利用促進などを進めてまいります。</p> <p>森林の活用策につきましては、外山森林公園、都南つどの森及び平成市民の森を整備しており、森林ボランティアの活動の場や森林散策など市民の憩いの場として利用しております。</p> <p>今後におきましても、子どもたちや市民の森林環境教育の場として、さらなる取組の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部林政課)</p> <p>6次産業化の強化につきましては、平成30年度に「6次産業化等スタートアップ支援事業」を新たに立ち上げ、生産者が自らの生産物を加工販売するための取組に対して補助金を交付する支援を行っております。30年度は6件、令和元年度は10件の取組が採択されるなど、徐々に6次産業化等への関心が高まっていることから、今後は、補助金交付に加え、年度途中での進捗確認や相談会の開催など、支援内容の拡充を検討してまいります。</p> <p>農家レストランや農家民泊の推進につきましては、関係機関や団体等で組織する盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会等において、情報発信、啓発・普及等に関する活動を行っております。協議会には、農家レストランや農泊を実施している構成団体もありますことから、今後も協議会等と連携し、情報交換や調査研究に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p> <p>生產品の販売網の開拓につきましては、現在行っている「美食王国もりおか」ウェブサイトを活用した「食と農」の魅力発信や「6次産業化等スタートアップ支援事業」による加工品の開発・販路拡大の支援を強化し、盛岡産農畜産物の販路拡大や魅力発信に取り組んでまいります。</p> <p>また、付加価値の高い農作物の導入につきましては、農業協同組合や農業改良普及センターと連携のうえ推奨し、農家所得の向上に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和元年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉や教育、コミュニティ形成のための事業に利用する場合、遊休地、耕作放棄地を斡旋する仕組みを検討されたい。 ・ スマート農業の促進を図られたい。 ・ 農業機械の買い替えに対する支援策を講じられたい。 ・ 産官学連携による農業系大学卒業の女子の就農・定住支援を図られたい。 	<p>遊休地、耕作放棄地での開発行為は、福祉施設や教育施設、コミュニティ形成のための開発においても都市計画法及び農業振興地域の整備に関する法律における開発許可が必要になることから、具体的事案に応じて対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p> <p>スマート農業の促進につきましては、農業者の高齢化や担い手の不足に悩む生産現場において、作業効率の向上、労働力の軽減、コスト削減等が期待でき、効果的な取組であると認識しております。</p> <p>平成30年11月と令和元年6月には、市内の認定農業者に対しスマート農業に関する意向調査を実施しニーズの把握に努めたほか、31年2月には「盛岡市環境制御技術研究会」を設立し、収益性の高い農業経営を実現する次世代型の施設園芸モデル育成のため、先進事例の調査や関係者の相互交流に取り組んでおります。</p> <p>今後におきましても、引き続きスマート農業を促進する取組の可能性について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p> <p>農業機械の単なる買い替えは国庫補助事業の対象外となっているものの、農地中間管理事業における地域集積協力金や中山間地域等直接支払制度の交付金などの活用により、地域に農業機械を導入する取組を支援できることから、今後は更にこれらの制度活用の周知に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p> <p>女性農業者への支援につきましては、産官の団体等により構成される盛岡地方農業農村振興協議会の事業において、若手女性農業者の農業経営力の向上を図るための研修会・交流会の実施や次世代女性リーダーの育成支援に取り組んでおります。</p> <p>今後は、農業を学ぶ女子学生及び卒業生の就農・定住につながるように、当該事業と農業系大学との連携の可能性について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p>

中央卸売市場

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和元年度予算要望への回答

団体名：市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【中央卸売市場関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卸、仲卸の経営実態を的確に把握されたい。 ・ 市場活性化ビジョンを着実に実行されたい。 ・ 空き施設の活用と家賃収入を確保されたい。 ・ 他市場の改革成功例を取り入れ市場の活性化に取り組んでいただきたい。 	<p>卸、仲卸の経営実態の把握につきましては、業者から毎月提出される売上・残高試算表等の月例報告及び決算に係る事業報告等の年次報告により、経営状況の把握と必要に応じて指導を行っております。また、公認会計士に財務検査の一部を業務委託し、専門的見地からの指導を行っております。引き続き、卸・仲卸業者の経営実態の的確な把握に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（中央卸売市場業務課）</p> <p>市場活性化ビジョンの実行につきましては、市場経営の基本戦略と実現するための重点取組事項を定めた「市場活性化ビジョン 2017」を平成 29 年 3 月に策定し、開設者と場内業者が一体となって取り組んでおり、引き続き、市場活性化ビジョン推進委員会において進行管理するとともに、改正卸売市場法施行後における当市場への影響等を踏まえた見直しを行いながら、着実な実行に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（中央卸売市場業務課）</p> <p>空き施設の活用と家賃収入の確保につきましては、令和元年度において、青果部で仲卸売場の一部を新たに使用することになったほか、水産物部において、冷蔵庫の使用と仲卸売場の一部を加工施設として利用したい旨の申し出があり、調整を進めております。引き続き、PRと情報収集を行い、新規利用者の掘り起し等に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（中央卸売市場業務課）</p> <p>市場の活性化につきましては、改正卸売市場法施行後における他市場の動向を注視するとともに、他市場との情報交換により得た事例を参考とし、場内業者と協議しながら、一体となって取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（中央卸売市場業務課）</p>

部

改

舞

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市民部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン 30 の計画的な導入を促進されたい。ゾーン 30 のできない通学路は速度の出ない道路構造とされたい。 	<p>ゾーン30のできない通学路での速度の出ない道路構造については、毎年実施している通学路の合同点検の中で危険箇所の把握に努め、警察と相談しながら、適切な対策について研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課)</p>
<p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。 	<p>大型の山車が運行できるような電線のあり方につきましては、道路上の架空線が無くなる無電柱化が有効であると存じております。</p> <p>なお、市における無電柱化は中心市街地や歴史的街並みを形成する地区で取り組んでおり、令和元年度は幹線道路整備に合わせ、都市計画道路 明治橋大沢川原線、都市計画道路 盛岡駅南大通線及び市道岩手公園開運橋線で実施しており、今後は大慈寺地区景観地区内の市道南大通二丁目南大橋線でも進めていく予定としております。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路建設課)</p> <p>山車につきましては、市内一円を巡行するため、一般道における構造物等の高さ制限を受けるところもあり、大型の山車運行については、これら構造物の撤去等の費用が必要となりますことから、観光政策としての考え方を踏まえて研究してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。市営住宅の保証人制度について住宅困難者が入居できる様、見直しをされたい。 	<p>住宅使用料等の収納率の向上を図り、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して文書催告や、夜間・休日を含めた電話催告及び訪問催告を実施して納付指導を行っているほか、必要に応じて民事調停等の法的措置を講じております。また、市営住宅等退去者滞納家賃等収納業務委託や滞納整理専門員の配置により納付勧奨等を強化しているとともに、平成27年度にはコンビニエンスストア収納の導入により納付機会の拡大を図っているところであり、今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。</p> <p>市営住宅の保証人制度につきましては、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市道津志田白沢線の早期の全線開通をされたい。 ・ 中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。 ・ 田沢湖線前潟駅の着工をされたい。 	<p>性を確保するためにも保証人は必要であると考えておりますが、保証人の選任について、より確保しやすい方策を検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部建築住宅課)</p> <p>都市計画道路津志田白沢線につきましては、国道4号と連絡するネットワークを形成するよう、接続する東西方向の市道高櫓線と一体となった整備に取り組んでおります。事業区間は、都南文化会館南側から南側約300m区間で、平成22年度から事業に着手しており、平成30年度は事業区間南側の用地交渉を進め、令和元年度は市道高櫓線の南側150m区間の工事を実施しており、北側150m区間についても用地の確保に努めております。今後におきましては、令和2年度に北側150m区間の工事を予定しており、事業の早期完成に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>また、本路線は盛岡市と矢巾町を結ぶ主要な道路の一つと存じておりますことから、「盛岡広域連携都市圏ビジョン」においてネットワークの強化を図る路線に位置づけており、南側の未着手の区間の整備については、都市計画道路整備プログラムに基づき、令和2年度に事業に着手する予定としております。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路建設課)</p> <p>市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケットエリア等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部交通政策課)</p> <p>JR田沢湖線前潟駅につきましては、平成24年度にJR東日本に基本計画調査を委託し、新駅想定乗車人員は見込まれるとの調査結果を得ております。また、平成28年度に行った事業効果の検証や平成29年度にJR東日本に委託した基本調査設計を踏まえた費用便益分析し、平成30年度に総合交通施策懇話会において事業実施は妥当である判断がなされております。</p> <p>地元には、平成30年度より「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」で</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IGR 下田駅の早期着工を図りたい。 ・ 岩手飯岡駅の橋上化とあわせ駅舎や駅周辺の活性化を図りたい。 ・ 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図られ 	<p>説明をしてきており、令和元年7月には地元説明会を行なったところです。今後は、JRへの新駅設置の請願を行い、令和2年度からの詳細設計や用地買収、整備工事に向け、JRとも協議し、事業の促進に努め、早期の事業完了に向けて取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(建設部交通政策課)</p> <p>IGR下田駅につきましては、見込まれる利用者数が少ないことと事業費の確保が課題となっており、今後の事業のあり方について、住民の意見を伺うため、平成27年4月、5月及び11月の3度にわたり地元懇談会を開催したところです。今後も地元の意見を踏まえ、新市建設計画に位置付けの他事業の精算を加えながら、新駅設置の可能性について検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(建設部交通政策課)</p> <p>岩手飯岡駅の駅舎新築につきましては、東西往来の円滑化や駅利用の利便性向上を図るため、駅舎と一体となった自由通路として整備を進めており、令和2年度は、JRと協定を結び工事の着手を予定しております。</p> <p>なお、橋上化に伴う駅舎につきましては、地元の要望をお聞きしながら設計を完了しており、現在の計画を変更することは難しいですが、駅西側の通路に設置するピロティを活用した活性化に向けて、地元と協議をしてみたいと存じます。</p> <p>また、その他の駅の敷地を使った活性化につきましては、要望があったことをJR東日本(株)にお伝えしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路建設課)</p> <p>駅周辺の活性化については、商工会議所や地元商店会から意見をお聴きするなどし、そのニーズを確認しつつ、連携しながら、活性化が図られるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課)</p> <p>岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては、公共交通機関へ転換しやすい環境づくりのための取り組みとして、市総合交通計画にその設置可能性の検討を位置付けてお</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>たい。</p> <p style="text-align: center;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山田線と花輪線を活性化されたい。山田線は宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。 ・ 東北本線の活性化（IGR と相互乗り入れ）や701系電車で転換クロスシートの設置、増結を要請されたい。 ・ IGRの車両更新には転換クロスシートの導入を促されたい。 ・ 仙北町駅橋上化の早期実現をされたい。 	<p>りますが、もりおか交通戦略では長期的な課題としており、今後、周辺の市街化の状況等をふまえながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>山田線の利活用につきましては、「盛岡市地域公共交通網形成計画」において、山田線の利活用を取り組む事業に位置付けており、公共交通機関として信頼度の高い鉄道網を確保し、沿線地域の交通の利便性を高めるため、山田線の利用促進を検討し、利活用にかかるパンフレットなどの作成・配布に取り組むこととしております。</p> <p>花輪線につきましては、沿線市町村で組織する利用促進協議会において、さまざまな機会をとらえ、情報発信することにより花輪線への関心を高め、沿線市町村の相互交流と利用客の増加を目指すこととしております。引き続き、花輪線の魅力発信や沿線地域のPRなど活性化に向け取り組んでまいります。</p> <p>また、山田線活性化協議会の設置につきましては、県、宮古市の動向を踏まえながら、必要に応じて検討してまいるとともに、宮古までの増発や観光活用につきましては、観光交流課と連携し、機会を捉えながらJR東日本に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>相互乗り入れにつきましては、事業者間の費用負担の課題があると伺っております。また、転換クロスシートにつきましては、JR東日本からは、701系電車は、朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき、スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており、保有車両を最大限活用している現状では、混雑時と日中を区別して運用することが困難なため、転換クロスシート化、増結は難しいと伺っております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>転換クロスシートの導入につきましては、IGRからは、今後の車両更新時に検討を行ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>仙北町駅の橋上化につきましては、整備に多額の費用やJR東日本との費用負担等の課</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狭隘道路の改良の促進を市内全域で図られたい。 ・ 災害公営住宅建設予定地周辺での渋滞緩和に努められたい。また、ふれあい橋拡幅の早期実現をされたい。 ・ 高齢者の買い物支援等のためのコミュニティバスを導入されたい。また、原則としてすべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者へ表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。 	<p>題もあり、引き続きJR東日本と相談してまいりたいと存じます。また、地元との勉強会を継続しながら、情報の共有等に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(建設部交通政策課)</p> <p>幅員が4m未満の市道につきましては、地元が主体となって進める、「狭あい市道整備促進事業制度」があります。拡幅用地の寄附が前提となりますが、その拡幅用地における測量及び物件移設等の経費に対し、補助金を交付する制度です。この制度についてはホームページ等でPRしておりますが、ご不明な点については道路管理課までご相談いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課)</p> <p>災害公営住宅建設予定地周辺での渋滞緩和につきましては、住宅が密集しており、沿道の用地買収や補償費用が大きく、拡幅整備は難しいことから、鉄道やバスの利用促進に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>なお、市道中屋敷町青山一丁目2号線の災害公営住宅付近につきましては、歩行環境の向上やバスを待つ歩行者の空間確保をする工事を予定しており、令和元年度は道路工事の設計を実施しております。</p> <p>また、「ふれあい橋」の拡幅につきましては、通過する交通量が多く、幅員が狭いことから、車両が円滑に通行することが難しい状況であり、拡幅整備は必要なものと存じておりますが、橋の架け替え等には多額の事業費確保が課題となってまいります。</p> <p>今後におきましては、隣接する都市計画道路 盛岡駅青山線と「ふれあい橋」は密接に関係することから、当該路線と併せて新たな都市計画道路整備プログラムの位置付けの中で検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路建設課)</p> <p>高齢者の移動支援等につきましては、まちなか・おでかけバス事業に取り組んでいるところであり、コミュニティバス等の交通手段についても、令和元年策定の「盛岡市地域公共交通網形成計画」に基づき、検討を行ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、バス停へのベンチの設置につきましては、設置空間及び財源の確保の課題もあり、すべては困難ではありますが、利用者の多いバス停につきましては、バス停上屋と合せて</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。</p>	<p>の設置や、地元の協力も頂きながら、今後も取組んでまいりたいと存じます。バス停用地として民有地を提供いただいた場合、これまでも固定資産税の減免等を行っておりますが、表彰制度につきましては、市としての表彰制度はないもののバス事業者が感謝状の贈呈を行った例がありますことから、今後バス事業者に相談してまいりたいと存じます。</p> <p>また、バス停間隔が長い区間へのバス停増設につきましては、バス事業者と相談してまいります。現地の状況により安全面から公安委員会や道路管理者等から同意いただけない場合もございますので御理解願います。</p> <p style="text-align: right;">(建設部交通政策課)</p>
<p>・ 公共交通空白地域を作らないようデマンドタクシーや地域コミュニティーバスの運営について市として具体的な施策を講じられたい。</p>	<p>公共交通空白地を作らないことについては、令和元年策定の「盛岡市地域公共交通網形成計画」において、生活に必要な移動を支える公共交通網の形成を目指しており、その中でスクールバスや患者輸送バスの運行形態を見直し活用することに加え、デマンド交通など交通空白を解消する移動手段の確保・導入を検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、導入にあたりましては、地域の実情に応じた移動手段や運営方法などについて、持続可能なものとなるよう地域の皆様と意見交換を行いながら、市としての支援のありからを検討し、取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部交通政策課)</p>
<p>・ 国道46号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。</p>	<p>国道46号線は、地域高規格道路「盛岡秋田道路」の一部として位置づけられており、岩手・秋田両県の広域地域間交流促進のため、これまでも国に対し早期整備を要望しているところです。今後も沿線自治体で構成する国道整備促進期成同盟会を通じて、機会を捉えながら地域高規格道路化を国に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課)</p>
<p>・ 松川・南川の安全対策を講じるよう県に働き掛けられたい</p>	<p>松川につきましては、県において平成27年9月に策定された盛岡北圏域の河川整備計画に基づき平成27年度に事業着手し、平成30年度より工事に着手して整備を進めているところです。また、南川につきましては、国道4号から下流部の県施工箇所について、平成28年度で概成しているところですが、北上川の合流点付近が未整備となっております。</p> <p>市といたしましては、松川・南川の事業促進について県へ要望しているところであり、今後も引き続き、統一要望などの機会を捉えながら要望するとともに、河川の安全を図る</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。 ・ バス路線で街路樹等が走行中のバスに当たっている現状がある。剪定や管理の徹底を図りたい。 ・ 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。 ・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備の促進、また中心地以外の内水想定区域を早期に示されたい。 	<p>ための適切な維持管理についても併せて要望してまいりたいと存じます。 (建設部河川課)</p> <p>(仮称)新盛岡バスセンター整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。 整備事業の推進にあたっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら策定した「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画(以下、整備基本計画)」に基づき進めることとしております。 今後も「整備基本計画」に基づき、地元商店街等と連携しながら、エリア価値を向上させ、河南地区への来訪者を増加させることにより、賑わいの創出を図ってまいります。 (商工観光部経済企画課，建設部交通政策課，都市整備部市街地整備課)</p> <p>バス路線の街路樹につきましては、道路パトロールにより通行に支障がある枝の把握に努め、適切に剪定等を実施してまいります。 (建設部道路管理課，都市整備部公園みどり課)</p> <p>[市長公室，都市整備部にて回答]</p> <p>急傾斜地崩壊等を含む土砂災害対策につきましては、県が実施する土砂災害防止工事等によるハード対策の推進及び拡大を要望するとともに、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行い、ソフト対策として土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、指定箇所について土砂災害ハザードマップを作成・配布し、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めてまいります。 洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく北上川，中津川，雫石川の河川整備事業や、四十四田ダムと御所ダムの洪水調節機能向上を図る北上川上流ダム再生事業に取り組んでおり、また、河川・ダムの適正</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> 環状交差点（ラウンドアバウンド）の導入を図りたい。 県営野球場南側の交差点、高松小学校側から北山トンネルへ行く道路に右折レーンを設置されたい。 	<p>な維持管理を行っているところです。</p> <p>岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域及び盛岡北圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川、北上川（県管理区間）及び松川などの河川改修の事業を実施しているところであります。</p> <p>市といたしましても、国や県と連携し、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、洪水対策の強化や堤防整備の促進が図られるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部河川課）</p> <p>中心地以外の内水想定区域の設定については、平成30年度において、都市機能の集積が高く災害リスクが高いこと、また、下水道が整備済で、雨水の排除を全て下水道施設が担う浸水解析が可能な地域として、盛岡駅周辺及び合流式下水道区域を対象とした内水ハザードマップを作成し公表したところであります。その他の地域につきましては、令和元年度は関係機関等から浸水実績の情報収集を行い、作成対象区域の優先順位やスケジュールなど、検討を進めているところであり、これまでの浸水実績の状況などから、雫石川以南地区の事業計画区域について優先的に作成する方向で、引き続き検討を進めてまいることとしております。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部下水道整備課）</p> <p>環状交差点（ラウンドアバウンド）につきましては、交差点に流入する車両の速度が低下することや車両同士の交差箇所が減少し、車両交通の安全性の向上が期待できます。</p> <p>課題としては、既存市街地において交差点を改良した場合、中央の車両が周回する外径が大きいことから、沿道地権者の理解を得ることが難しく、整備範囲の大きさから用地買収や補償費用が大きくなることが考えられます。</p> <p>今後につきましては、郊外部等の沿道への影響が少ない箇所について、導入の可能性を検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>市道庚申窪更の沢線につきましては、国道455号交差点から西側120mを整備区間として、平成23年度に事業着手し整備計画等について地権者説明を行っておりましたが、地権者の理解が得られず休止しているところであります。</p> <p>今後につきましては、状況の変化を捉えながら再交渉に臨んでまいりたいと存じます。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯岡十文字からシティーマラソン折り返し地点の旧盛岡和賀線と現在の盛岡和賀線の交差点について市道側から和賀線に右折レーンと右折信号機を設置されたい。 ・ 市道（中太田 31 号線改め）上太田 68 号線の舗装改築をされたい。 ・ 私道の舗装・同 2 次改築や側溝の清掃に対し支援策やボランティアとの調整を図っていただきたい。 	<p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>〔右折信号機は、くらしの安全課にて回答〕 主要地方道 盛岡和賀線と交差する市道下太田下飯岡 3 号線に設置されている右折レーンの延長につきましては、近接する市道北街道線との交差点に影響することから難しいと存じております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>通行に危険な箇所が生じた場合は、速やかに補修を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p> <p>私道の所有者や利用者が舗装等の工事を行う場合、要件を満たせば経費の一部を補助する「私道等整備促進事業制度」があります。活用等については、道路管理課までご相談いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p>
<p>【都市整備部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を促進されたい。また盛岡動物公園については計画の進行状況等を出来るだけ細目に市民に提供していただきたい。 	<p>岩山公園につきましては、令和元年度に策定した「岩山エリア公民連携事業基本計画」に基づき、リードプロジェクトである盛岡市動物公園の再生事業を推進し、岩山エリア全体として活性化を目指してまいります。</p> <p>アクセス道路となる市道岩山 2 号線につきましては、平成 22 年度から道路改良事業に着手しており、歩道が未整備である新庄浄水場付近から旧漆芸美術館方向の約 750m 区間を事業区間として、平成 29 年度までに新庄浄水場付近から市道つつじが丘団地線までの約 180m が完成しており、残り約 570m 区間につきましては、早期に事業効果を発現できるよう予算の確保に努め、令和 4 年度の完成を目指して事業を進めてまいります。</p> <p>また、盛岡市動物公園につきましては、公民連携事業により民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的とし株式会社もりおかパークマネジメントが市の代理人として、盛岡市動物公園再生事業計画を</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	<p>具体化していくこととしており、今後、具体の設計や計画に一定の進捗がみられるごとに、随時、市民や議会に情報提供してまいります。</p> <p>旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部公園みどり課，建設部道路建設課，総務部管財課)</p>

都市整備部

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【商工観光部関係】、【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。 	<p>(仮称)新盛岡バスセンター整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。</p> <p>整備事業の推進にあたっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら策定した「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画(以下、整備基本計画)」に基づき進めることとしております。</p> <p>今後も「整備基本計画」に基づき、地元商店街等と連携しながら、エリア価値を向上させ、河南地区への来訪者を増加させることにより、賑わいの創出を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光部経済企画課、建設部交通政策課、都市整備部市街地整備課)</p>
<p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> バス路線で街路樹等が走行中のバスに当たっている現状がある。剪定や管理の徹底を図られたい。 	<p>バス路線の街路樹につきましては、道路パトロールにより通行に支障がある枝の把握に努め、適切に剪定等を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課、都市整備部公園みどり課)</p>
<p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。 	<p>内丸官庁街につきましては、都市計画法に基づく「一団地の官公庁施設」を全国に先駆けて定め、市民の利便性、公務の能率及び土地の高度利用が図られ、市及び県における政治経済活動の中心として発展してきたものと存じております。「盛岡広域都市計画区域マスタープラン」や令和2年3月に公表を予定している「盛岡市立地適正化計画」を踏まえ、今後も中心商業・業務拠点を形成する地区としての位置づけが継続されるべきものと存じております。</p> <p>団地内の建物及び土地利用に関しては、今後の経年変化による建替えなどに応じて、各施設管理者と協議調整を図っていく必要性がありますことから、今後も情報収集に努めるとともに、適宜、国・県との協議調整を図ってまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課、都市整備部都市計画課・市街地整備課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【都市整備部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。 	<p>空き家の再活用に係る不動産業者との連携についてであります。平成24年12月に、社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び社団法人全日本不動産協会岩手県本部と「盛岡市空き家等バンク制度運用に関する協定」を締結しており、空き家バンクの利用希望者からの要望に応じ、各協会に加盟している業者を紹介することとしております。</p> <p>また、国土交通省において、平成29年度より、全国の空き家等の検索が可能な空き家バンクシステムの試行運用を開始し盛岡市も参加しているほか、地方自治体と宅地建物取引業者等の連携による空き家等の有効活用等への支援を行っておりますことから、今後も、その内容を踏まえながら関係機関や社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び社団法人全日本不動産協会岩手県本部と連携してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部都市計画課)</p> <p>[空き家の管理については、市民部で回答]</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡城の再建をされたい。 	<p>盛岡城跡の歴史的建造物の再建につきましては、平成24年度に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、令和4年度以降に二階櫓や吹上門などの復元と、長期的な取組として天守(三階櫓)の復元を検討することとしており、復元に向けて各種資料調査・収集に取り組んでいるところであります。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部公園みどり課)</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> 松園団地や桜台団地、湯沢団地などの団地の活性化策を講じられたい。 	<p>松園団地や桜台団地、湯沢団地などの郊外における団地におきましては、開発からの年数経過に伴い、少子高齢化と人口減少や空き地、空き家の課題が生じてきていることから、これまで地域の皆様との話し合いを行いながら、公共交通利用促進や松園団地においては、沿道用途の緩和を目的とした用途地域の見直しなどの取組を行ってまいりました。</p> <p>また、本市では、全国7都市で構成する「ふるさと団地元気創造推進協議会」に参加し、国に対して、郊外団地の活性化の政策について提言を行ってまいりました。</p> <p>この提言を踏まえ、平成24年度からは、空き家等の利活用を促し、地域の活性化を図るため、松園ニュータウンにおいて社会実験として「盛岡市空き家等バンク制度」を開始し、平成27年度には範囲を市街化区域に拡大したところであります。また、平成28年3月に「盛</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 8</p> <p>・ 新たな土地利用をする地域での電線地中化や景観意匠施策、地中熱利用による融雪対応、自然エネルギーの導入など環境配慮した住宅街を形成するためのモデル地区をつくられたい。</p>	<p>岡市空き家等対策計画」を策定し、空き家等の適正管理と有効活用に関する施策を計画的に実施しており、令和元年度で計画期間が終了することから、「第2期盛岡市空き家等対策計画」を策定する予定であり、今後におきましても、空き家対策を進めるとともに、地域のニーズを踏まえながら、地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部都市計画課)</p> <p>一定規模の宅地開発など、新たな土地利用の相談があった場合は、景観・環境に配慮した地区計画の決定などの提案を行ってまいります。</p> <p>なお、住宅地における電線地中化につきましては、大慈寺地区において、歴史的景観を保全し、形成を図るため、平成24年8月に都市計画法に基づく景観地区に指定するとともに、地区計画を定め、その「公共施設等の整備の方針」の中では、「特にも多くの町家などが連担している市道南大通二丁目南大橋線は、景観上も重要な路線であることから、無電柱化などにより歴史的景観に配慮した整備を図る」こととしております。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部都市計画課・景観政策課)</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <p>・ 景観力が向上するような施策を展開されたい。違法看板への対応を強化されたい。</p>	<p>平成21年度に景観計画を策定し景観施策を進めてまいりましたが、状況の変化により改善すべき点が出てきましたので、平成30年度に良好な景観形成をさらに促進するため、眺望景観保全地域の追加や自然エネルギーによる発電設備の景観への配慮等を追加した景観計画の改正を行いました。これからも景観計画を充実させ景観施策を進めてまいります。</p> <p>また、良好な景観形成を促進するためには、景観に関する市民や建築関連業者の意識向上が重要でありますことから、周知啓発を図るために、従来から実施しております「景観シンポジウム」や「都市景観賞」を継続するほか、周知啓発に有効な施策について検討してまいります。</p> <p>法令に違反する屋外広告物につきましては、対応を強化するため、平成26年度に是正指導事務処理要領及び是正指導計画を策定して取り組んでおります。また、平成26年度から始めている、市民、屋外広告業者、行政機関が参加する「広告景観タウンミーティング」を開催し、官民連携による屋外広告物の適正化に向けた取り組みを行っているところです。今後におきましては、市民、事業者等の理解を得ながら、良好な景観を形成するための屋外広告物の適正な設置に係る取り組みを一層推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部景観政策課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉈屋町地区は重要伝統的建造物群保存地区を目指していただきたい。 	<p>鉈屋町地区につきましては、平成23年11月に策定した「大慈寺地区まちづくり計画」に基づき、盛岡町家の保存と街並み形成の誘導を図ることとしており、平成24年度には、この計画に基づき、住民合意を踏まえ、都市計画法に基づく「地区計画」、景観法に基づく「景観地区」の指定を行い、地域住民との協働によるまちづくりを進めております。</p> <p>「重要伝統的建造物群保存地区」は文化財保護法に基づく制度であり、指定要件に合致するか等文化財としての評価の問題がありますほか、現状変更規制がかけられることとなり、所有者や地元の合意形成等の課題となりますことから、地元の動向も注視しながら指定の可能性等について研究してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（都市整備部景観政策課，教育委員会事務局歴史文化課）</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かわを生かした街づくりを推進されたい。 	<p>市内中心部を流れる中津川や北上川においては、盛岡市と国土交通省が協働により策定した、「盛岡地区かわまちづくり計画」(H21～R2)に基づき、国土交通省が遊歩道、階段、親水護岸の整備等を行い、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺や北上川沿いの歴史的街なみ整備を行い、現在は舟運復活に向けた取組み等を進めており、今後とも良好な水辺空間の創出と、地域の活性化の推進に努めて参ります。</p> <p style="text-align: right;">（都市整備部公園みどり課）</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡城跡公園のP-PFIの実施は十分な市民合意を取った後に具体的な設計を行っていただきたい。そのため、公園内の建物の設計や事業内容等の情報は市民への周知を図っていただきたい。 	<p>盛岡城跡公園芝生広場の整備については、盛岡城跡公園の歴史的価値や、愛着を持っている市民が多いことなどを踏まえ、懇話会を設置し、市民や関係団体等から意見を伺い、内容を検討してまいることとしております。懇話会においては、さまざまな課題はあるものの、しっかりと進めることが盛岡市のためになるという総合的な御意見をいただいたところであります。</p> <p>今後とも、懇話会のほか、シンポジウムなどによる事業に関する情報発信など、市民や議会へのより丁寧な説明に努め、事業を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（都市整備部公園みどり課）</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進していただきたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を促進されたい。また、盛岡 	<p>岩山公園につきましては、令和元年度に策定した「岩山エリア公民連携事業基本計画」に基づき、リードプロジェクトである盛岡市動物公園の再生事業を推進し、岩山エリア全体として活性化を目指してまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>動物公園については計画の進行状況等を出来るだけ細目に市民に提供していただきたい。</p>	<p>アクセス道路となる市道岩山2号線につきましては、平成22年度から道路改良事業に着手しており、歩道が未整備である新庄浄水場付近から旧漆芸美術館方向の約750m区間を事業区間として、平成29年度までに新庄浄水場付近から市道つつじが丘団地線までの約180mが完成しており、残り約570m区間につきましては、早期に事業効果を発現できるよう予算の確保に努め、令和4年度の完成を目指して事業を進めてまいります。</p> <p>また、盛岡市動物公園につきましては、公民連携事業により民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的とし株式会社もりおかパークマネジメントが市の代理人として、盛岡市動物公園再生事業計画を具体化していくこととしており、今後、具体の設計や計画に一定の進捗がみられるごとに、随時、市民や議会に情報提供してまいります。</p> <p>旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部公園みどり課，建設部道路建設課，総務部管財課)</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <p>市街化調整区域における空き家の農家住宅等の売買について一定の緩和措置を講じられたい。</p>	<p>市街化調整区域における農家住宅等の売買については、都市計画法で規制されませんが、当該建物の所有者が変わることにより、建物用途の変更に該当するため、新たに都市計画法上の許可が必要となります。市街化調整区域における農家空き家の活用案につきましては、国の運用指針の一部改正を踏まえた既存建築物の用途変更の弾力化について、検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部都市計画課)</p>
<p style="text-align: right;">P 8</p> <p>通勤通学路のブロック塀の安全対策を講じられたい。撤去をする際の補助制度を実施されたい。</p>	<p>通勤通学路のブロック塀の安全対策につきましては、道路に面するブロック塀等の調査を進め、危険なブロック塀等の所有者に対し是正するよう指導するとともに、ブロック塀等を撤去する場合には、撤去費用の一部を補助することを検討しております。補助制度につきましては、令和2年度において国庫補助金を活用した事業の実施に向け検討しております。</p> <p style="text-align: right;">(都市整備部建築指導課)</p>

上下水道局

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【上下水道局関係】</p> <p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化や技術の継承を図られたい。 鉛管の交換を早期に実施されたい。 	<p>水道施設の更新につきましては、「もりおか水道施設整備構想」及び「第三次盛岡市水道事業基本計画」に基づき計画的に進めているところであり、浄水場等施設につきましては、将来の人口減少を見据えた施設整備や浄水場の集約化について、重点的に取り組んでおります。管路につきましては、老朽化した管路の更新を最優先に進めているところでございます。</p> <p>老朽化した下水道施設につきましては、平成24年度に策定した「盛岡市下水道長寿命化計画」に基づき、国の交付金を活用し計画的な改築更新に努めているところでございます。処理施設については、平成26年度から東安庭二丁目地内の中央監視制御棟設備更新工事を実施しており、管路施設については、平成26年度から菜園・内丸地区の合流管の管更生工事を実施し、施設の更新（延命化）を推進しているところです。なお、下水道施設全体のストックマネジメント計画については、令和元年度中の策定に向け作業を進めているところでございます。</p> <p>なお、技術の継承につきましては、上下水道局における経験年数に合わせたOJTなどによる職場研修を実施しているほか、水道技術研修施設を活用した技術継承研修、八戸圏域水道企業団・岩手中部水道企業団とのパートナーシップに関する覚書に基づく研修などを実施し、現場技術の習得や職員の技術力向上を図っており、引き続き技術の継承に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部総務課・水道建設課・下水道整備課）</p> <p>鉛製給水管の解消につきましては、鉛に係る水質基準が平成15年4月から改正されることを受け、平成14年度に鉛製給水管解消事業基本計画、翌平成15年度には実施計画を策定し、鉛製給水管の解消に取り組んできたところでありますが、未だ鉛製給水管が残存している状況であります。現在は給水装置の所有者に対しまして、鉛製給水管の布設替え工事費への助成制度を設けて解消を促進すると共に、経年管更新事業等の他事業による工事の際に鉛製給水管の解消を進めており、今後も広報等を通じまして助成制度の周知を図りながら、引き続き解消に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">853219054 73207-2466-P4 66047/17 1x-2-boxn[us] (上下水道部給排水課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道事業広域化にむけた工程や概要を早期に市民に示されたい。 	<p>水道事業の広域化につきましては、平成28年2月29日付け総務省通知「市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制の構築等について」及び同年3月2日付け厚生労働省通知「水道事業の広域連携の推進について」が各都道府県あて発出され、岩手県においては、平成29年1月23日付けにて「岩手県水道事業広域連携検討会」が設置され、県内5ブロックの検討会により様々な検討が行われたところであります。</p> <p>県内5ブロックのうち、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町及び矢巾町の6市町で構成する「盛岡広域ブロック検討会」においては、現況と課題、他都市の取組状況、広域連携の可能性の検討等を報告書として取りまとめて、平成31年3月に盛岡市上下水道局及び構成市町の各ホームページにおいて公表したところであります。</p> <p>また、平成31年1月25日付け総務省及び厚生労働省通知において、都道府県に対し「水道広域化推進プラン」を令和4年度末までに策定するよう要請されており、策定主体である岩手県においては今後、水道事業の広域化の推進方針等の検討に着手し、広域連携の取組を推進する予定であると伺っております。</p> <p style="text-align: right;">(上下水道部経営企画課)</p>
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> 新米内浄水場整備の全体像を市民に公表されたい。 	<p>米内浄水場につきましては、創設から85年を経過しており、施設の更新について基本計画策定に向けた取り組みを進めているところであり、令和10年代半ばの完成を目標としております。施設内容の検討や今後の関係機関等との協議を踏まえ、全体像が決定しましたら市民に公表することとしております。</p> <p style="text-align: right;">(上下水道部水道建設課)</p>
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道熱の利活用をされたい 	<p>下水道熱を利活用した施設は、過去に市内で導入した事案がありますが、現在事業中の箇所においては、見込んでいるところはありません。しかしながら、新たな下水道の役割を積極的に果たしていくため、今後につきましても他都市の事例について注視してまいりたいと存じます。また、下水道熱を活用した他都市での融雪装置への導入事例などがございますので、活用していただける事業者への積極的な情報提供に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(上下水道部下水道整備課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> 未利用地の売却や有効活用をされたい。 	<p>未利用地については、売却や上下水道局における有効活用を検討してまいりますが、既存廃止施設の解体・撤去に多額の費用が必要なこと、活用が難しい場所に位置していること、国庫補助金等が充当されている施設もあること等から、財政状況や有効活用の可能性等を踏まえ検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部総務課）</p>

市立病院

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市立病院関係】</p> <p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的に医師の確保につとめられたい。 ・ 累積債務の圧縮のために早期に対策を講じていただきたい。 ・ 訪問診療の充実を図られたい。 	<p>医療の質の向上と収益改善を進める上で医師の確保は最も重要なことであり、令和元年度は、臨時常勤医師として内科、神経内科、消化器内科各1人を採用したほか、医大外科専門医研修プログラムによる研修医（専攻医）1人を採用しているところであります。</p> <p>今後も岩手医科大学へ医師派遣を引き続き要請するとともに、医師紹介業者等からの情報も収集しながら、常勤医師の確保に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市立病院総務課）</p> <p>地域の中核病院としての機能を十分に発揮し、単年度収支の均衡を図るための第4次経営改善計画に基づき、引き続き、医師確保に努めるとともに、地域包括ケア病棟を積極的に運用することや、他の医療機関や介護施設との連携・協調の下に、市民ニーズに応える医療を提供することにより、持続可能な病院の実現を目指し、累積債務の縮小に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市立病院総務課）</p> <p>平成31年4月に開設した医療連携支援センターが中心となり、令和元年11月から当院のかかりつけ患者を対象に、訪問診療を実施しており、住み慣れた地域での生活が継続できるよう、切れ目のない支援を行い、在宅への視点を重視した「地域包括ケアシステム」の推進に努めているところであります。</p> <p>令和2年度は、対象者の拡大を図っていく方針であり、市内で訪問診療を展開している他の医療機関とも連携して取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市立病院医事課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料費削減に向けた取り組みをされたい。 	<p>材料費の削減については、現在、単価の妥当性を判断するためのベンチマークシステムを活用し、年間購入額の上位品目に絞った価格交渉を実施しております。</p> <p>令和2年度もこの取組を継続するとともに、他の医療機関との情報交換や、診療材料においては、会員病院全体で同じ商品を使用する共同購買への参加など、費用の削減に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市立病院医事課)</p>

全
國
教
育
統
一

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 石川啄木や新渡戸稲造など盛岡の先人の偉業を考慮して交流を図っていただきたい。 	<p>◎ 歴史文化課担当分 函館市とは、啄木かるた大会において小学生の相互派遣を行っており、平成29年度には両市の教育長が双方の大会を視察するなど、交流を図っているところです。今後も、多様な交流の促進を図ってまいります。</p> <p>◎ 企画調整課担当分 平成31年2月に石川啄木の縁で友好都市を提携した東京都文京区には、新渡戸稲造や金田一京助も居を構えたことがあるなど、盛岡の先人との縁がありますことから、文京区と相談しながら、様々な交流について検討してまいりたいと存じております。 また、今後、他都市との交流を進める際には、本市が輩出した偉人や業績を介した交流の可能性についても探っていききたいと存じております。 (市長公室企画調整課・教育委員会事務局歴史文化課)</p>
<p>【都市整備部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉾屋町地区は重要伝統的建造物群保存地区へ目指していただきたい。 	<p>鉾屋町地区につきましては、平成23年11月に策定した「大慈寺地区まちづくり計画」に基づき、盛岡町家の保存と街並み形成の誘導を図ることとしており、平成24年度には、この計画に基づき、住民合意を踏まえ、都市計画法に基づく「地区計画」、景観法に基づく「景観地区」の指定を行い、地域住民との協働によるまちづくりを進めております。 「重要伝統的建造物群保存地区」は、文化財保護法に基づく制度であり、指定要件に合致するか等文化財としての評価の課題がありますほか、現状変更規制がかけられることとなり、所有者や地元の合意形成等が必要となりますことから、地元の動向も注視しながら指定の可能性等について研究してまいります。 (都市整備部景観政策課、教育委員会事務局歴史文化課)</p>
<p>【教育委員会関係】</p> <p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育予算を増額されたい。そして耐震工事・屋根塗装・老朽校舎整備・プール改修、トイレの洋式化など教育条件整備に努められたい。 	<p>耐震補強工事は、平成28年8月に完了しております。 屋根塗装、老朽校舎整備及びプール改修につきましては、経過年数や老朽化の状況などにより、緊急度や優先度を勘案しながら、計画的に整備するよう努めてまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校生徒に対する野外事業や体験事業を支援されたい。 学力の向上とあわせて全国平均を下まわる体力の一層の向上策を講じられたい。 	<p>トイレの洋式化につきましては、各学校の状況を把握しながら、大規模改修工事に併せ、計画的に整備してまいりますとともに、国庫補助が認められた場合は、前倒して整備できるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局総務課)</p> <p>不登校生徒に対する野外事業や体験事業については、様々な体験活動を通して、人との交流を図りながら、自立性と集団への適応力を高めるため、教育研究所のいきいきスクール事業において、野外活動、動物飼育体験、スポーツ体験活動、科学・歴史文化体験学習等を実施しております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p> <p>学力向上については、教員の指導力の向上を図るために、各校の校内研究会への指導主事の派遣や研究指定校による公開研究会の開催を行っております。</p> <p>また、平成21年度に「盛岡市学力向上プロジェクト」を立ち上げ、その成果の継承と課題の解消に向けて27年度からは名称を「盛岡市学力向上推進事業」と変更し、全市的な取組を推進しております。令和元年度は「主体的・対話的で深い学びを促す教師の関わり」を柱とし、児童生徒が学習課題を自分ごととして捉え、考えを深める学び合いを通して、学びの自覚を図る授業改善に取り組んでおります。また、諸調査の分析を通して誤答・無解答に至るつまずきの要因を探り、児童生徒の実態を多面的に捉え、指導に生かすことに取り組んでおります。このような取組を通して、学習内容の確実な定着と学習に対する意欲の向上を目指しております。</p> <p>体力向上については、各校において、体力・運動能力調査の結果を基に、十分な運動量を確保しながら体育授業の改善に取り組むこと、日常的に小学生の外遊びを奨励すること、準備運動の仕方を工夫することなどに取り組んでおります。また、体力向上に関する研究委託や教員研修を行うとともに、スポーツ推進課及び盛岡市スポーツ協会の事業と連携を図りながら、体の基本的な動きや体力向上に関する研修会に参加するよう指導を行っております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 職業観・社会観の醸成をされたい。そのため 	<p>盛岡市では、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力を育むため、平成19年</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>に地区の人材を講師として招聘されたい。</p> <p style="text-align: center;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡市立高校を個性的で魅力的な高校にされたい。県教育委員会まかせではない、市教育委員会の独自の人事制度や教員配置を通じ、生徒の集まる環境を整備されたい。 市内全域の学校教育施設等の整備促進計画案の公表（統廃合含む）をされたい。中学校での先行を行われたい。 	<p>度に、産業界や関係行政機関等を委員とする「キャリア教育推進協議会」を立ち上げ、各学校での実践を支援するため、「職場体験リスト」の作成やリーフレットの作成を行ってまいりました。</p> <p>職業に関する講話や授業協力をいただける人材を確保するため、28年度に「職場体験リスト」を刷新し、「職場体験受入・キャリアアドバイザーリスト」として新たに作成し、市内全小中学校へ配布いたしました。その後も、引き続き推進協議会委員の御協力をいただきながら、リストの掲載事業所の数や職種の充実を図っており、平成31年3月に、最新のデータについて市内全小中学校に配布いたしました。</p> <p>今後も引き続き、地区の人材等を活用し、キャリア教育の充実を図るよう、各学校に働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p> <p>平成16年度から21年度まで実施した市立高校教育改革により、大学進学率及び就職率が向上しております。また、部活動奨励により、スポーツ、文化活動ともに優秀な成績を収めており、市立高校に対する評価が高まってきております。</p> <p>平成25年度に策定した第二次市立高校教育改革基本方針により、教育環境の変化に対応しながら、更なる高校教育の質の向上に努めてまいります。</p> <p>受験者の確保につきましては、入試制度改革や中学校訪問などにより学校の教育内容や入試制度などの説明を行ってきており、志願者は県内公立高校の中で常に上位の状況となっておりますが、今後も、引き続き学校の特色や成果等について周知を図ってまいります。</p> <p>教員の配置につきましては、市立高校が1校であり人事異動の面から独自の配置は困難でありますことから、これまで同様、県教育委員会と連携しながら、進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学務教職員課・市立高校）</p> <p>学校教育施設等につきましては、平成28年3月に策定された「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」に基づき整備しており、当該計画は、市公式ホームページ等により、公表しております。</p> <p>盛岡市立小中学校の統廃合につきましては、平成21年4月に盛岡市小中学校適正配置基本方針を策定し、平成21年度から23年度までに基本方針に関して聴取等を行った保護者、学校関係者、地域からの意見等を踏まえ、平成24年11月に盛岡市小中学校適正配置基本計</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校や中学校の部活動にかかる費用を支援して頂きたい。大会等の旅費について運動部・文化部にかかわらず拡充を図りたい。 ・ 学校司書の配置の充実を図りたい。 ・ 学校弁護士事業を開始されたい。 ・ 就学援助金の拡充をされたい。 	<p>画を策定しております。</p> <p>計画では、中学校の統合を先行することについては特に触れてはおりませんが、地域との懇談等において、適正配置に関する意見や要望が出された場合には、適切に対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局総務課・学務教職員課)</p> <p>中学校のクラブ活動費の支援につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる生徒のうち、国が支援を行う要保護生徒に対しては、平成21年7月から生活保護費の教育扶助学習支援費の一部として支給してきております。</p> <p>また、市が支援を行う準要保護生徒に対しては、令和元年度から、中学校全学年に対して生徒が一律に負担する費用として7,000円を、中学校1年生に対してクラブ活動に必要な用具等を購入する費用として上限額22,850円を支給開始しております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学務教職員課)</p> <p>学校司書の配置につきましては、令和元年度は、11名を配置して28校を担当しております。今後も、学校図書館の整備・充実のため、より多くの学校に学校司書を配置できるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p> <p>現在、学校で生じる様々な事案のうち、法的な判断が求められる事案が発生した場合は、市の顧問弁護士から意見を伺いながら、対応しております。近年、法的な判断を求められる事案が生じてきており、スクールロイヤー制度について、国の動向を注視してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局総務課)</p> <p>就学援助制度につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒のうち、国が支援を行う要保護児童生徒に対しては、平成21年7月から生活保護費の教育扶助学習支援費の一部として支給してきております。</p> <p>要保護者に準ずる程度に困窮している準要保護者に対しては、国の制度に準じながら各市区町村独自で判断し支給することとされており、当市においては、新入学児童生徒学用</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立図書館建て替えについて、市民要望が充分反映する形での検討をされたい。 ・ 小中高における特別支援学級の充実をされたい。 ・ 情報教育の更なる推進に向けて、ICT環境整備・指導者育成に努めること。 ・ 市指定文化財を県指定・国指定に再評価していくよう働きかけられたい。 	<p>品費の支給単価増額や令和元年度から開始したクラブ活動費の支給など実施しておりますが、更なる支給費目の拡充について、段階的な導入について検討してまいります。 (教育委員会事務局学務教職員課)</p> <p>市立図書館につきましては、大規模改修を実施することとし、現在、基本設計を実施しておりますが、大規模改修に当たっては、広く市民の声を生かしていくことが重要でありますことから、図書館協議会や市民アンケートなどを通じて、市民の意見を伺いながら、大規模改修を進めているところです。 (教育委員会事務局生涯学習課)</p> <p>盛岡市立小中学校に設置された特別支援学級・通級指導教室は、平成30年度は小学校82の学級・教室、中学校33の学級・教室でしたが、対象児童生徒の増加や未設置校からの要望により、令和元年度は、小学校5学級、中学校3学級を新たに設置しております。今後とも、各学校の実態を受け、必要に応じて設置するよう努めてまいります。 (教育委員会事務局学校教育課)</p> <p>ICT環境整備につきましては、契約更新に併せ、児童・生徒用パソコンのタブレット化及び普通教室の無線LANの整備等に努めてまいります。 指導者研修につきましては、情報教育推進のため、コンピュータソフトの操作や活用、プログラミング教育に係る公開講座を開講し、指導者の育成に努めております。 (教育委員会事務局学校教育課)</p> <p>市の指定文化財が県及び国の指定文化財となるためには、県及び国の類似の文化財との比較において県及び国を代表する典型的で重要なものであることを示す必要があり、機会を捉えながら県に指定候補の情報を提供してまいります。 (教育委員会事務局歴史文化課)</p>
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各分野の伝統文化の担い手の相互交流を促進する機会をつくっていただきたい。 	<p>市は、盛岡市所在の指定無形民俗文化財等の保存・活用を図り、その保持団体の相互連絡を密にし、後継者の育成を図ることを目的とした、「盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会(54団体が加盟)」に対して、補助金を交付しその活動を支援しているほか、青少年</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめや自殺防止のため、LGBTを含む人権教育の強化に取り組まれない。 	<p>郷土芸能フェスティバルを共催するなど、積極的に民俗芸能の担い手の育成を促進する機会を設けております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局歴史文化課)</p> <p>いわゆるLGBTといった性的指向や性自認を取り立てた指導は行っておりませんが、各学校では、人権教育の内容として、社会科の学習の中で「基本的人権を尊重すること」、道徳の中で「だれに対しても差別や偏見を持つことなく接すること」、学級活動の中で「自己及び他者の個性を理解し尊重すること」を児童生徒の発達段階に応じ、指導しております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 教職員の不祥事防止を徹底されたい。 	<p>教職員の綱紀保持の徹底を図るとともに、教育公務員として一人一人の行動が、教育に対する信頼に及ぼす影響を深く自覚することを促し、モラルの向上、法令遵守の徹底について繰り返し指導し、不祥事の再発防止に引き続き取り組んでまいります。</p> <p>また、飲酒運転を含めた不祥事未然防止について、組織的な対応をより一層徹底していくとともに、教職員個々の状況に応じた指導や相談を進めるなどして、教職員一人一人のコンプライアンス意識の醸成に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学務教職員課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 私費の抑制に努められたい。 	<p>学校集金等で保護者が負担している「私費」には、ドリルや副教材など学校で使用する教材の費用や、見学のバス代など学校外活動に必要な費用などがあります。学校運営での私費利用については、目的及びルールを定めた「盛岡市学校徴収金事務取扱要領」に沿って各学校長が決定しておりますが、金額が保護者の負担過重とならないよう、適正な取扱について指導してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 不登校の子ども達へ通信制高校の紹介を実施して頂きたい 	<p>各中学校において、通信制高等学校を含む高等学校等について生徒及び保護者に紹介する等、適切に進路指導を実施しております。不登校の生徒に対しても、早期から進路に関する相談を行い、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、情報を提供しながら進路指導を実施しております。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国の山村留学の情報の提供をされたい。 	<p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p> <p>文部科学省は、山村留学について、小規模校活性化のため、児童生徒集団の多様性を確保するなどの観点から、積極的に検討する必要があるとしておりますが、本市においては、小中一貫教育に係る事業や、教育研究所委託研究における小規模・複式学級における学校連携の事業において、交流学习等児童生徒集団の多様性を確保する取組を行い、小規模校の活性化を図っているところです。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した遠隔による授業参加ができる仕組みを早期に講じられたい。 	<p>遠隔教育は、小規模校等における教育活動の充実や、不登校児童生徒や病気療養児の学習機会の確保を図る観点などから、その重要性は十分理解しておりますが、遠隔教育の仕組みを講じるためには通信回線速度やIT機器の整備、質の高いWeb会議システムの選定、高度なセキュリティシステムなど、環境整備面での課題もありますことから、今後研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 市立学校における制服の自由選択性の導入をされたい。 <新規> 	<p>制服は、入学時や転校時における保護者の一時的な費用負担が生じることや、児童生徒が自由に自分の好きな衣服を着用できない反面、学校としての一体感や所属感を持たせることや、保護者の経済的負担の軽減につながる良さがあると捉えております。服装に関して個別の配慮が必要な児童生徒がいる場合は、制服にこだわらず柔軟な対応が肝要ですが、制服の自由選択制につきましては、基本的に、学校が、生徒や保護者の意見を聞きながら、総合的に判断していくものであります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティーの子供たちが、性別自認や性的指向に気づいた際、孤独あるいは暴力を受けることを防ぐためにジェンダー・セクシュアリティ教育を推進されたい。 	<p>各学校では、児童生徒の発達段階に応じて、社会科や道徳、特別活動などの時間において、基本的人権を尊重すること、誰に対しても差別や偏見を持つことなく接すること、自己及び他者の個性を理解し尊重することなどを取り上げ、性的指向などにかかわらず、自他の人権を尊重することを指導しております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P10</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者に対して、ジェンダー・セクシュアリティ教育を推進されたい。 	<p>教育委員会では、文部科学省等の通知を各学校に周知し、教職員の共通理解を図るよう、指導しております。また、各学校では、文部科学省が作成したパンフレットに基づいて、校内研修を実施したり、県教育委員会が、毎年開催している研修会に参加し、研修会参加者が校内の研修会において報告したりしております。きめ細かな対応を行うためには、教職員が正しい知識を持つことが大切であることから、今後も、研修に積極的に参加させるとともに、各学校において、性的少数者への共通理解が図られるよう、指導してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>